



越谷ものづくり企業ガイドブック

CREATION &



PRODUCTION



越谷市



未来を創造するちから

地域産業を取り巻く環境は、人口減少・少子高齢化や海外との競争激化、情報技術の発展などの経済・社会構造の変化により、ますます厳しいものとなっています。このような現状の中、高い付加価値を生み出し、地域雇用の担い手となるものづくり産業の振興を図ることは、地域の「稼ぐ力」の強化はもとより、その波及効果は地域産業全体の活性化をもたらします。このことにより、地域でいきいきと働ける環境が醸成され、地域に人が集い、その人々と共にさらに魅力的な越谷を築き上げていく。こうした好循環を生み出すことで、「中核市・越谷」として、埼玉県東部地域はもちろん、日本全体の活力につなげていきたいと考えます。

越谷ものづくり企業ガイドブック「CREATION & PRODUCTION」は、優れた技術・製品等を有する市内企業の情報を広く発信することで、事業の成長発展に向けた販路拡大や企業間連携を促進し、本市ものづくり産業の振興を図ることを目的としております。

埼玉県の東南部、そして東京都心から25km圏内に位置する本市には、お客様のニーズに基づき「Production（製造）」することはもちろん、よりよいものづくりのためにお客様と共に「Creation（創造）」する、キラリと光るものづくり企業が多く立地しております。今回掲載することができなかった企業も多くございますが、本ガイドブックをきっかけに、「越谷のものづくり」の魅力を知っていただき、新たなパートナーとの出会いを通して、取引の拡大、企業間連携の促進、イノベーションの創出につなげていただきたいと思います。

結びに、本ガイドブック発行にあたり、ご協力いただきました掲載企業の皆様をはじめ、越谷市商工会や地域金融機関等の支援機関の皆様に心から御礼申し上げます。

平成28年1月

越谷市長 高橋 努



越谷市の 交通 利便性

Conveniently Located - Koshigaya City

越谷市は、市域面積60.24km²で、埼玉県の東南部、東京都心から半径25km圏内に位置しています。

市内には、南北に走る国道4号バイパスをはじめ、国道463号や県道などの幹線道路が整備されており、草加IC(東京外かく環状道路)や浦和IC(東北自動車道)などの高速道路による交通利便性にも優れています。

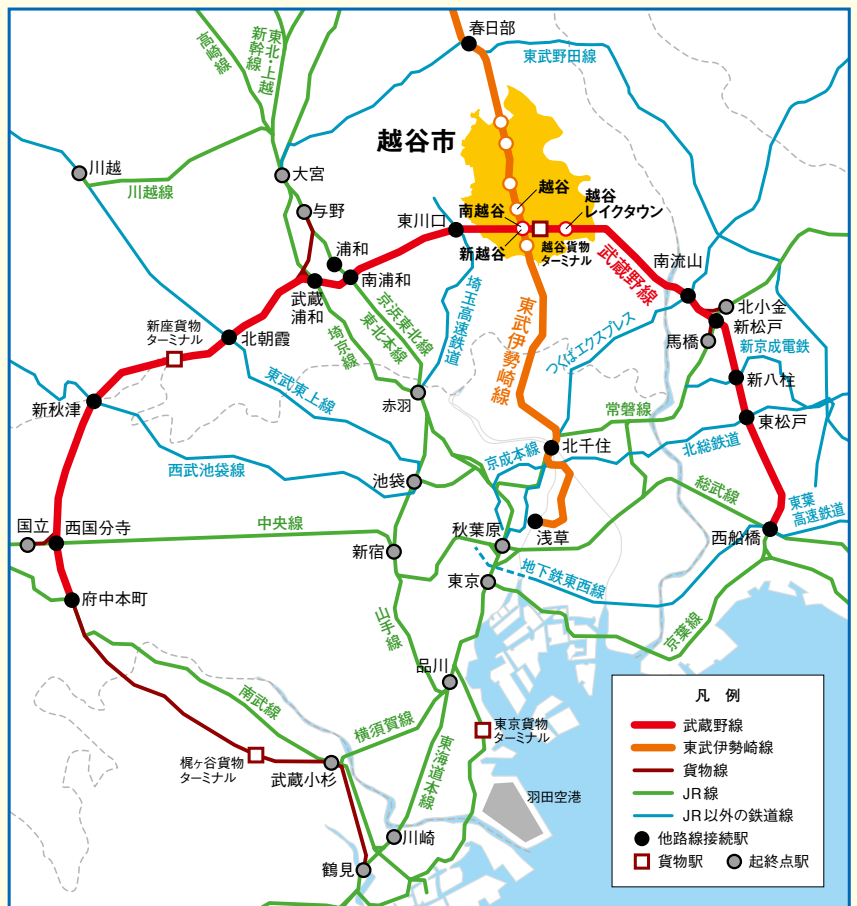
また、南北の東武伊勢崎線と東西のJR武蔵野線を合わせて8つの鉄道駅を有し、鉄道の結節点となっていることに加え、JR越谷貨物ターミナル駅を中心とした物流拠点が形成されています。

これらの充実した道路・鉄道交通網が、市内外との迅速で効率的な物流を可能にしています。

主要高速道路網



主要鉄道網



越谷の産業と人口

産業構成

越谷市の産業構造

	全国	埼玉県	越谷市	越谷市の順位
事業所数	5,453,635	244,825	11,213	県内3位・全国102位
(うち製造業)	493,380	29,417	1,135	県内6位・全国81位
従業者数	55,837,252	2,492,294	106,415	県内4位・全国113位
(うち製造業)	9,247,717	487,051	14,836	県内10位・全国110位
製造品出荷額等(百万円)	288,727,640	12,139,338	211,271	県内19位・全国335位
付加価値額(百万円)	244,667,154	7,251,613	254,032	県内5位・全国135位
(うち製造業)	56,465,853	1,673,439	48,961	県内11位・全国168位
労働生産性(平均・千円/人)	5,016	4,225	4,422	県内14位・全国180位
(うち製造業)	6,082	4,812	4,891	県内24位・全国439位
創業比率(2009-2012)	1.84%	1.87%	2.45%	県内3位・全国115位
経営者平均年齢	58.6歳	58.8歳	58.0歳	県内51位・全国1346位(高齢順)

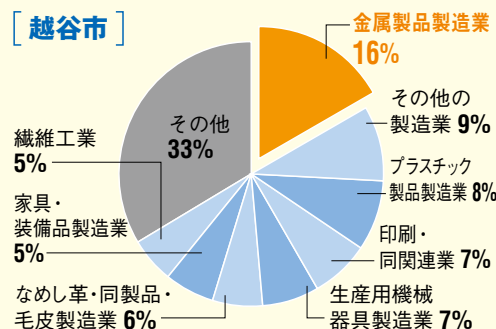
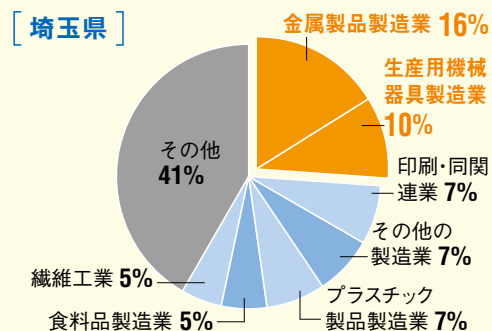
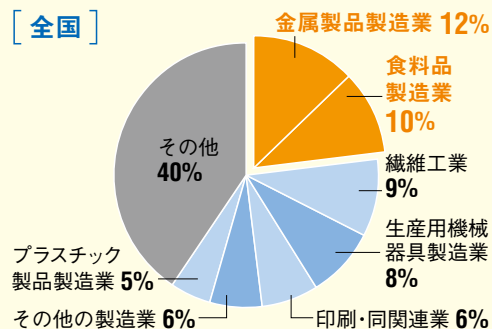
資料:事業所数と従業者数は平成24年経済センサス活動調査(2012年2月1日現在)それ以外は、地域経済分析システム(RESAS)における平成24年経済センサス活動調査再編加工のデータを引用

産業中分類別民営事業所数

区分	全国		埼玉県		越谷市	
	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合
総数	493,380	100.0%	289,417	100.0%	1,135	100.0%
食品製造業	51,132	10.4%	1,598	5.4%	51	4.5%
飲料・たばこ・飼料製造業	8,326	1.7%	223	0.8%	2	0.2%
繊維工業	47,065	9.5%	1,519	5.2%	65	5.7%
木材・木製品製造業(家具を除く)	15,002	3.0%	421	1.4%	24	2.1%
家具・装備品製造業	23,555	4.8%	1,345	4.6%	67	5.9%
パルプ・紙・紙加工品製造業	11,927	2.4%	916	3.1%	51	4.5%
印刷・同関連業	33,524	6.8%	2,176	7.4%	82	7.2%
化学工業	8,741	1.8%	624	2.1%	27	2.4%
石油製品・石炭製品製造業	1,665	0.3%	67	0.2%	2	0.2%
プラスチック製品製造業	24,813	5.0%	2,116	7.2%	95	8.4%
ゴム製品製造業	5,539	1.1%	515	1.8%	21	1.9%
なめし革・同製品・毛皮製造業	5,708	1.2%	496	1.7%	70	6.2%
窯業・土石製品製造業	22,114	4.5%	709	2.4%	15	1.3%
鉄鋼業	9,135	1.9%	509	1.7%	17	1.5%
非鉄金属製造業	6,153	1.2%	668	2.3%	18	1.6%
金属製品製造業	63,083	12.8%	4,759	16.2%	190	16.7%
はん用機械器具製造業	16,297	3.3%	1,041	3.5%	30	2.6%
生産用機械器具製造業	42,730	8.7%	2,940	10.0%	81	7.1%
業務用機械器具製造業	9,637	2.0%	990	3.4%	30	2.6%
電子部品・デバイス・電子回路製造業	9,064	1.8%	627	2.1%	11	1.0%
電気機械器具製造業	18,440	3.7%	1,231	4.2%	46	4.1%
情報通信機械器具製造業	3,446	0.7%	279	0.9%	9	0.8%
輸送用機械器具製造業	20,602	4.2%	1,282	4.4%	22	1.9%
その他の製造業	31,199	6.3%	2,131	7.2%	106	9.3%
製造業 内格付不能	4,483	0.9%	235	0.8%	3	0.3%

資料:平成24年経済センサス活動調査(2012年2月1日現在。割合は四捨五入の関係上、合計が一致しない場合がある)

民営事業所数の割合



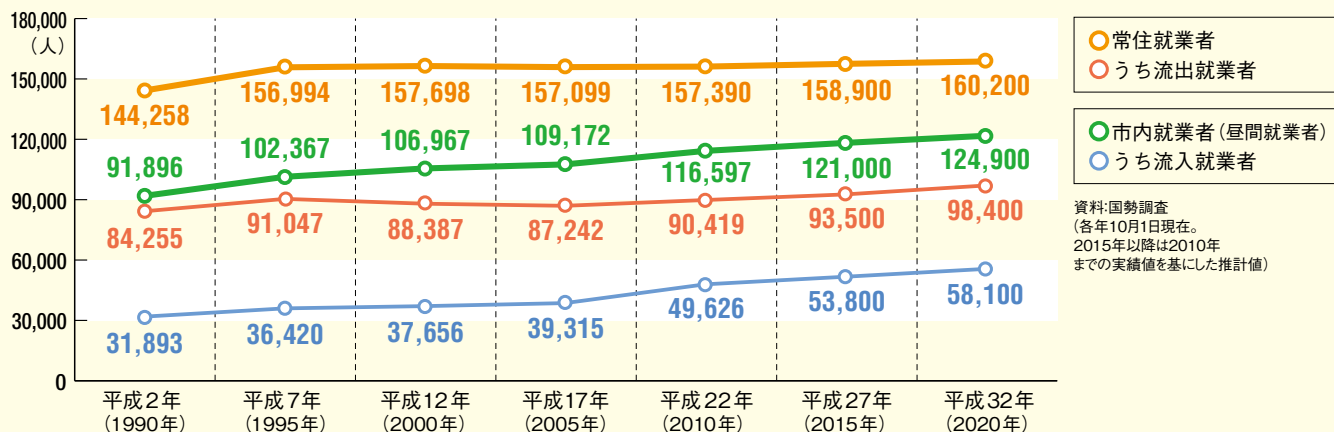
市内の製造業は、どのような傾向があるのでしょうか。
 総務省・経済産業省が行った「平成24年経済センサス活動調査」の
 集計のほか、今回の取材で実施したアンケート調査の結果も合わせて、
 “越谷市のものづくり”を浮き彫りにします。

人口・就業者数

市内人口3区分の推移



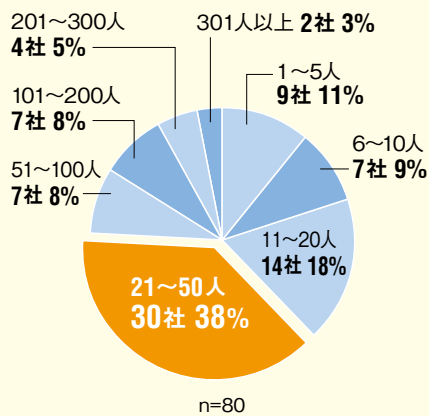
市内就業者数の推移(通学者除く)



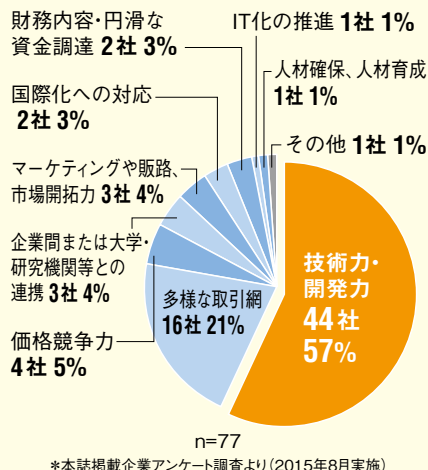
掲載企業に
聞きました!

掲載企業の特徴

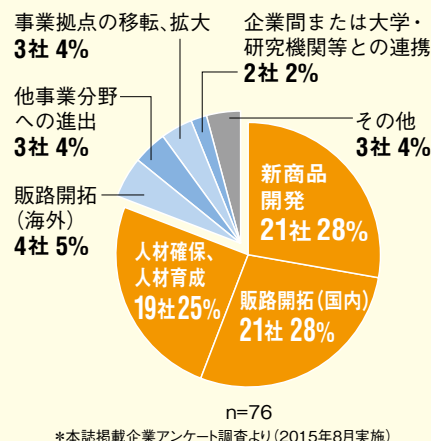
従業員数



一番の強みだと思うこと



現在最も力を入れている、あるいは今後一番の重要課題として取り組みたいと思っていること



目次

未来を創造するちから	1
越谷市の交通利便性	2
掲載企業MAP	3

越谷の産業と人口	4
目次	6

機械器具製造

01 (株)浅草製作所	8
02 (株)天谷製作所	9
03 (株)AMU冷熱	10
04 (株)新井製作所	11
05 (株)飯田製作所	12
06 大森機械工業(株)	13
07 梶原工業(株)	14
08 (株)カメダ熱電	15
09 共同工業(株)	16
10 京葉エンジニアリング(株)	17
11 サンライズ工業(株)	18
12 (株)ジェイネット	19
13 (株)翔和	20
14 (株)シンセイ	21
15 タイテック(株)	22
16 (株)ニチリョー	23
17 日本エレベーター製造(株)	24
18 三上鉄工(株)	25
19 ミナトエンジニアリング(株)	26
20 モディアシステムズ(株)	27
21 (株)ユニシス	28
22 (株)ライフ	29

電子・電気機械製造

23 セリック(株)	30
24 東京トランス(株)	31
25 ヒーロー電機(株)	32
26 (株)マルニックス	33
27 (株)和光製作所	34

金属加工

28 (株)秋山	35
29 (株)アドバンスパーツ	36
30 石井プレス工業(株)	37
31 (株)大西歯車製作所	38
32 (有)川本製作所	39
33 (有)サクラ製作所	40
34 三協製罐工業(株)	41
35 (有)成起工業所	42
36 (株)精密歯研工業所	43
37 (株)中山製作所	44
38 (有)常陸機械製作所	45
39 (有)村田スプリング製作所	46
40 山元(株)	47
41 (有)山寺製作所	48

樹脂・ゴム加工

42 木本ゴム工業(株)	49
43 コーケン工業(株)	50
44 (株)J&C	51
45 (株)タイセイ	52
46 東和合成工業(株)	53
47 (株)マックインターナショナルアソシエイツ	54
48 光宝化学(株)	55

紙加工・印刷

49 (株)エス・ワイ・エス	56
50 (株)エフ広芸	57
51 (有)川島銘板	58
52 (株)協和プロセス	59
53 大日本パッケージ(株)	60
54 松崎紙工(株)	61
55 山浦紙器印刷(株)	62

表面処理加工

56 小川金属塗装(有)	63
57 (有)江東高周波工業	64
58 (有)セキネアルマイト	65
59 (株)パーツ精工	66
60 吉野電化工業(株)	67

その他加工

61 (株)檜の木製作所	68
62 (有)キクチ三化学	69
63 (株)ジンクラフト	70
64 中島プレス工業(有)	71

材料・化学工業

65 (株)岡安商店	72
66 (株)新光化学工業所	73
67 太陽化学塗料(株)	74
68 フジオックス(株)	75
69 フタバペイント(株)	76

食品製造

70 (株)クリタエイムデリカ	77
71 越ヶ谷製氷冷蔵(株)	78
72 (株)佐々商店	79
73 (株)米菓桃の家	80

靴・衣料・関連

74 (有)イケモト	81
75 (株)ティーアンドエス	82
76 (株)プラスワン	83

その他

77 東邦化研(株)	84
78 日本バリデーション・テクノロジーズ(株)	85
79 (株)パワーホース	86
80 (株)谷中	87

索引	88
----	----

越谷ものづくり企業ガイドブック

CREATION & PRODUCTION

- 各企業のカテゴリー分けについては、取材した内容をもとに分類した。
- 企業情報の住所は、基本的に市内外の本社や市内の工場のみを記載し、市内外の営業所や市外の工場は省いた。
- 掲載内容は、数値等も含め2015年8月～11月の取材時のもの。



機械器具
製造



電子・電気
機械製造



金属加工



樹脂・
ゴム加工



紙加工・
印刷



表面処理
加工



その他
加工



化学工業
材料



食品製造



衣料・
靴関連



その他



製造
機械器具

01

株式会社 浅草製作所

ものづくり専門の工作機械は 約半世紀で1,000種類を生産

自社工場の設備でつくる 小型NC機が目玉製品

創業以来、自動車部品加工機を中心に、超硬工具加工専用機や教育用教材などの各種工作機械を受注生産している。既存の製品のほか、ゼロベースから構想を練る新規機械の開発、設計、製作も手がける。鉄、非鉄金属、ガラス、アクリル樹脂など工作機械の対応素材は幅広く、これまでに約1,000種類を生産。納入先は大手メーカーや海外日系企業がほとんどだ。近年、経営革新計画承認を取得して、製作の全工程を自社で賄える「小型NC機 ARCH」を開発した。ユーザーニーズに合わせてカスタマイズでき、他の小型NC機に比べて入手しやすい価格（450万円～）も魅力だ。



独自の技術



およそ半世紀にわたる実績から、顧客との信頼関係も厚く、設計・製作ノウハウが豊富。社内でも新技術の勉強会を開くなど、幅広いニーズに対応できる力を養成している。

強み



設計から製作、組み立て、電気設定、調整、納品まで一貫したサービスを行っている。納品後のメンテナンスや修理も手がけており、充実したアフターサービスを行っている。

今後の展望



自動車部品の工作機械を中心に自社の得意分野を伸ばしていくほか、機電一体製品の開発にも注力していく。さらに市内企業等とも連携し、新しいものづくりにも挑戦していきたい。

働く人の声



製造担当
杉本昇一
さん

試行錯誤しながら、自分のプログラムが設定通りに動いてくれて、イメージしたような製品が完成したときは言葉で言い表せないほどうれいです。

株式会社 浅草製作所 (あさくさせいさくしょ)

TEL **048-731-1225** (春日部工場)

E-MAIL **info@asakusa-machinery.co.jp**

住 所 / 越谷市東大沢4-27-18(本社工場)
春日部市赤沼1583-2(春日部工場)

F A X / 048-731-1227(春日部工場)

U R L / <http://www.asakusa-machinery.co.jp/>

創 業 / 1967年7月

資本金 / 2,000万円

従業員 / 7名

主な事業内容

工作機械、自動車部品などの加工機、
小型NC機の設計、開発、製造、修理

主な取引先(納入先)

建材、自動車部品、電機メーカー、
印刷会社、各研究機関・大学等

常圧CVD(化学気相成長) 装置製造のプロフェッショナル

02

株式会社 天谷製作所



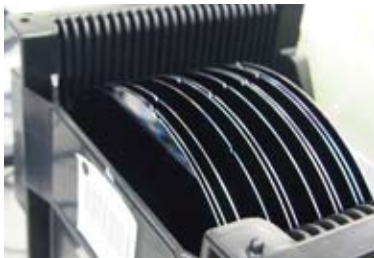
製造
機械
器具



常圧CVD装置に特化し、 長期にわたり保守可能

1970年に半導体製造装置製造に参入して以来、半導体製造設備投資の波を乗り越え、現在は常圧CVD装置に特化して製品を提供し続けている。顧客ニーズに応える豊富な製品ラインアップを用意し、オーダーメイド品の対応も可能だ。さまざまなウェハサイズに対応した量産用連続式装置、密閉式チャンバーを採用した枚葉式装置、小規模生産用バッチ式装置を用意しており、8インチ用では毎時100枚の処理が可能だ。太陽電池装置用は125mm/156mm角が連続式で処理でき、156mm角では毎時1,500枚の生産能力を誇る。ガス種はSiH₄、O₂、PH₃、B₂H₆、N₂、TMAなどに対応している。

独自の技術



150℃から450℃までの広範囲の温度での膜の生成が可能。膜の種類は、SiO₂のみならず、BPSG、BSG、PSGなど、幅広く対応できる。SiCのトレーを採用し、重金属汚染も防止している。

強み



長年にわたるCVD装置の製造実績により、多くの国内外の半導体製造現場に納入されている。さらに豊富な保守経験により、安定的な稼働を保证する。ISO9001:2008を取得している。

今後の展望



半導体・太陽電池以外の用途への拡大を考え、大学などと連携研究開発を行い、海外展開も積極的に行っていく。技術者自らの力を発揮できる環境を整え、半期に1テーマの自己啓発を行う。

働く人の声



製造部 係長
今田浩市
さん

常圧CVD装置のオンリーワン企業を目指し、お客様に満足いただける装置づくりを常に心がけて仕事に取り組んでいます。

株式会社 天谷製作所 (あまやせいさくしょ)

TEL **048-989-1881**

E-MAIL **h_chiba@amaya-cvd.co.jp**

住 所 / 越谷市西方3149-1

F A X / 048-989-1881

U R L / <http://www.amaya-cvd.co.jp/>

創 業 / 1962年4月

資本金 / 6,750万円

従業員 / 48名

主な事業内容

半導体・太陽電池等製造装置の製造・販売および同装置のアフターサービス

主な取引先(納入先)

非公開



製造
機械器具

03

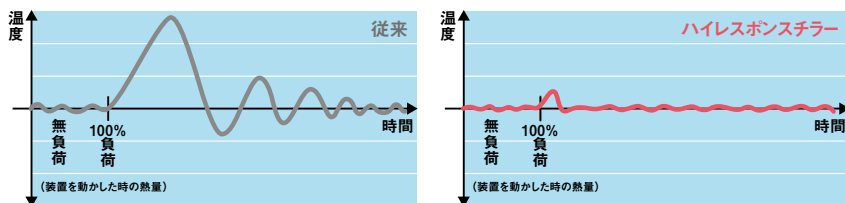
株式会社 AMU冷熱

実験室や製造現場を 一変させた高性能チラー

精密な温度制御が可能なチラー（冷却器）の開発・製造を行っている。同社の製品は、最大で設定値 $\pm 0.001^{\circ}\text{C}$ という高安定性を保つため、恒温条件下での計測や実験、加工が欠かせない精密で高性能な製品・部品の研究開発や製造の現場に導入されている。2010年に開発したハイレスポンスチラーは、運転初期や設定変更時に対象物を目標温度にしたり、あるいは対象物の発熱量が急変したときにも、オーバー/アンダーシュートや波打ち現象もなく、高速で追従できる。汎用品から特注品まで、1台から低価格で製造でき、一貫した全国サービス体制によるサポートも充実している。

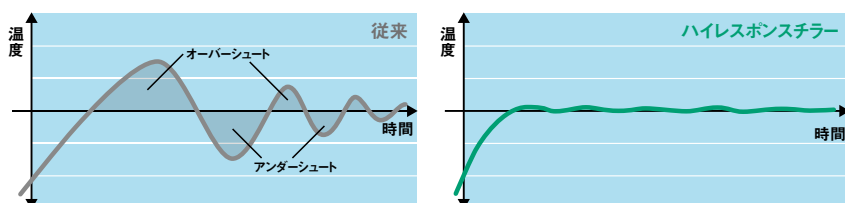
世界初の完全恒温循環制御装置を 世界の製造現場へ

Fast Recovery ファストリカバリー



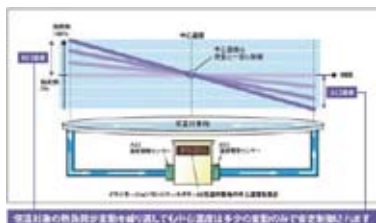
お客様の負荷(熱)が変動した時の対応速度(リカバリータイム)が超高速です。そのため恒温対象物の温度変化を約1/5以下に押さえ込む事が出来ます。

Indecial Response インディシャルレスポンス



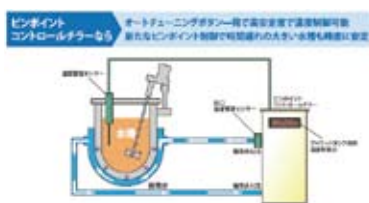
設定時間変更時(目標温度到達時)に起こるオーバーシュート(測定値が設定値を超える)、アンダーシュート(測定値が設定値を下回る)が劇的に少ない応答です。(ほぼゼロです)

独自の技術



通常は直接計測できない対象物の中心温度を、周辺の温度データのみで恒温管理する、世界初の恒温循環制御装置イマジネーションコントローラーが技術の中心である。

強み



従来は温度調整に時間がかかったジャケットタンクなどをピンポイントで温度制御するチラーを開発。既存タンクに後付け可能で、設備投資の額を抑えながら高精度の温度制御を実現できる。

今後の展望



常に世界最先端を走ることで、容易にまねされずに、医薬品の開発から製造ライン、レーザー機器、半導体製造現場などの幅広い分野に対し、恒温環境を提供していきたい。

経営者の声



代表取締役
田沼克之
さん

精密恒温制御は、今まで他の技術分野の発展に比べ出遅れていた分野です。世界初の恒温制御装置が、さまざまな分野で活躍する時代が楽しみです。

株式会社 AMU冷熱(アムれいねつ)

TEL 048-988-1130

E-MAIL amux@amux.co.jp

住所 / 越谷市川柳町4-194-2
FAX / 048-988-1248
URL / <http://www.amux.co.jp/>
<http://www.amux.jp/>

創業 / 2005年12月
資本金 / 1,000万円
従業員 / 4名

主な事業内容

冷却水循環装置、恒温循環制御装置、恒温水槽、恒温機の製造

主な取引先(納入先)

公的研究機関、大学、トヨタ自動車

トロリー製品を中心とした 信頼性の高い医療機器を開発・製造

04

株式会社 新井製作所



製造
機械
器具



機能的で利便性が高い 自社ブランド「a.m.i」

事業の3本柱を成しているのが、「医療用トロリー製品の開発・製造販売」「各種機器の受託製造・組立・OEM」「医療機器の製品開発」。なかでも点滴台、照明灯をはじめとした医療用のトロリー製品がもっとも得意。点滴台は色の種類が豊富で、多様なアクセサリーを取り付けやすく、安定性に優れた設計が特徴。脚部はスタッキング可能な構造で、使用しないときはコンパクトに収納できる。LEDを搭載した診療用の照明灯は15年前から研究開発を行っており、現在の白色LEDは3世代目。時代を先取りした自社ブランド「a.m.i」の製品として、全国の医療現場で活躍している。

独自の技術



創業以来、医療機器製造に携わっている経験から、現場ニーズに対応した高い開発力を持つ。医療現場での使いやすさを考慮し、移動時の安定性に優れた点滴台は特許取得の看板製品。

強み



医療用トロリー製品は顧客ニーズに合わせてカスタマイズできる。耐久性の高い点も強みだが、経年劣化したパーツの交換や修理が必要な場合は、自社工場を受けているので対応が早い。

今後の展望



オリジナルのトロリー製品は、コンパクトにパッケージできるオールインワンの商品。輸送コストの軽減にもつながるので、こうした利点を活かして海外進出の戦略を立てていく予定。

働く人の声



営業部
新井健介
さん

お客様からの引き合いは直接話を聞きに伺い、ニーズに合わせて図面作成、材料の選択、加工技術など社内相談し最善の方法で製品の製造を行います。

株式会社 新井製作所 (あらいせいさくじょ)

TEL **048-986-2131**
E-MAIL **info@ami-inc.jp**

住 所 / 越谷市相模町2-122
F A X / 048-987-1362
U R L / <http://www.ami-inc.jp/>
創 業 / 1948年6月
資本金 / 1,000万円
従業員 / 15名

主な事業内容

医療福祉機器やLED機器の開発、設計製造および販売、ステンレス板金機器の設計製造、粉体・メッキ塗装

主な取引先(納入先)

各業種メーカーおよび商社、全国官公庁病院、各病院・医院・クリニック等



日本の菓子の歴史とともに歩み続ける 菓子製造機械メーカー

和洋さまざまな種類の 菓子製造機械を特注で製造

和菓子と洋菓子を中心とした食品関連機械の設計、製造、販売をしている。創業より和菓子を中心とした製造機械の開発を行い、洋菓子の普及とともに新たな機械開発に着手した。ミキサー、攪拌機、蒸練機、デボジッターなど、多種多様な菓子に応じた製造機械を顧客の要望に応じながら開発、製造している。素材を最大限に活かすことができ、効率的で多様性のある機械は高く評価されており、大手の食品メーカーや菓子メーカーをはじめ、名だたる和菓子店や洋菓子店が多数導入している。ロングセラーの団子自動製造機は全国でトップシェアを誇る。



独自の技術



菓子は各店で独自の製法や形があるため、機械はほとんどが特注品だ。安全面や厳しい衛生管理に対応しながら、製造からパッケージまで一貫した製造ラインを受注できる。

強み



菓子の種類ごとに多数の専用機械メーカーがあるなかで、和洋さまざまな菓子製造の機械を多種多様に製造している。売上構成も和菓子と洋菓子の機械で50%ずつである。

今後の展望



1台でケーキとクッキーの両方の生地を搾れるデボジッターを新たに開発した。菓子を知りつくした同社ならではのアイデアだ。省スペースの個人店などを中心に販売展開していく。

経営者の声



代表取締役社長
飯田 勉
さん

当社のルーツは江戸時代にさかのぼり、武家の先祖が竹を刀で削って団子の串をつくったのが始まりです。以来ずっと菓子に携わり続けています。

株式会社 飯田製作所 (いーだせいさくしょ)

TEL **03-3843-2101**

E-MAIL **info@iida-seisakusho.co.jp**

住 所 / 東京都台東区松が谷4-1-1(本社)
越谷市増森1544-15(工場)

F A X / 03-3843-2108

U R L / <http://www.iida-seisakusho.co.jp/>

創 業 / 1954年4月

資本金 / 2,000万円

従業員 / 35名

主な事業内容

製菓食品機械設計・製造・販売

主な取引先(納入先)

大手食品、菓子メーカー、和菓子店、洋菓子店等

世界最速のピロー包装機を製造 国内トップクラスの包装機メーカー

06

大森機械工業株式会社



製造
機械
器具



顧客ニーズに合わせた 包装システムを提供

食品や薬品などを自動で個別包装する自動包装機械の開発・製造を中心に手がけている。主な製品に、横ピロー包装機、深絞り型真空包装機、トレーラッパー、医薬品用包装機、カートナー・ケーサーなどがあり、顧客のニーズに合わせてさまざまな包装システムラインを製造し提供している。魚肉ソーセージの両端をアルミクリップで留める（結さつ）機械の開発から包装機械業界に参入し、確かな実績を積み重ねている。現在では、ユーザー数約3,000社、年商200億円を越す国内トップクラスの包装機メーカーであり、今後は世界を舞台に、さらなる飛躍を目指している。

独自の技術



毎分400パックという速さの密封包装を実現。この速度での密封包装は世界最速となる。複数のメディアで取り上げられるなど、大きな反響を呼んでいる。

強み



隔年で開催される、アジア最大規模の包装機展覧会「JAPAN PACK」において、アワード開始以来4期連続で「大賞」を受賞するなど、業界内外から技術力の高さを評価されている。

今後の展望



中国、英国、カナダ、インドに加え、2015年にはオランダ、タイに新たな拠点を設立。「Team OMORI」として海外拠点と密に連携し、さらなるグローバル展開を進めていく。

働く人の声



管理本部
河内雅裕
さん

当社の持続的な発展のため社内の人材育成にも非常に力を入れております。グローバル展開が進んでいく中で、世界で活躍する人材育成を目指します。

大森機械工業 株式会社 (おもりきかいこうぎょう)

TEL **048-988-2111 (越谷工場)**

E-MAIL **saiyou@omori.co.jp**

住 所 / 越谷市西方2761 (本社・越谷工場)

F A X / 048-961-1333

U R L / <http://www.omori.co.jp/>

創 業 / 1948年3月

資本金 / 2億3,800万円

従業員 / 558名

主な事業内容

包装機械および包装関連機器の製造

主な取引先(納入先)

食品メーカー、医薬品メーカー、雑貨メーカー等



製造
機械器具

07

梶原工業
株式会社

世界を目指す加熱攪拌機 (製餡機)のパイオニア

幅広い料理に対応する 調理機械の専門メーカー

小豆を炊いて餡を練る機械を出発点として、食材の加熱攪拌調理機械を製造している。和菓子の餡や洋菓子のカスタード、キンピラ牛蒡のような和食、炒飯や餃子のような中国料理、カレーソースやスクランブルエッグのような洋食にいたるまでを、さまざまな種類の加熱攪拌調理機でカバーしている。「より多くの人々によりおいしい幸せを」を理念に掲げ、顧客ニーズに合わせたカスタマイズ製品の提供も可能。IH（電磁加熱）またはガスの高温と蒸気加熱の高カロリーを複合して供給できるハイブリッド加熱攪拌機や乳化機能を備えた加熱攪拌機の開発等で数多くの表彰を受けている。



独自の技術



特許技術の壁面温度管理で、焦げつきを発生させない。SWS自動計重システムで煮詰め具合を検出する。食材の物性や混ぜ具合の希望に応じていろいろな攪拌機構が提案できる。

強み



八潮市にあるテスト室では、実際に導入するものと同じ製造ラインをつくって試験調理することも可能。機械を使用して頂くための最適なコンサルティングができるのが特徴だ。

今後の展望



調理食品の品質向上と食の安全安心を設備面から支え、食品メーカーとともに発展を目指す。シンガポール事務所を通じてアジアの食生活向上に寄与し、同時に欧米へも販路拡大を図る。

働く人の声



資材管理課
田中克敏
さん

食品を焦がさず攪拌できるのが当社の機械の自慢です。それを構成するすべての部品を調達するのが資材管理課。大変ですが、やりがいのある仕事です。

梶原工業 株式会社(かじわらこうぎょう)

TEL 048-962-8881(東京工場)

E-MAIL sales@kajiwara.co.jp

住 所 / 東京都台東区松が谷2-13-13(本社)
越谷市増森1544-1(東京工場)

F A X / 048-962-8876(東京工場)

U R L / <http://www.kajiwara.co.jp/>

創 業 / 1939年1月

資本金 / 9,600万円

従業員 / 150名

主な事業内容

加熱攪拌機械製造

主な取引先(納入先)

虎屋、文明堂、味の素、ハウス食品、山崎製パン、永谷園、日本食研、ニチレイ、オタフクソース等

国内トップレベルの温度精度を誇る 冷却水循環装置を製造

08

株式会社 カメダ熱電



製造
機械
器具



高精度な分析・研究環境を 支える温度管理技術

冷却水循環装置、窒素ガス発生装置などの開発設計、製造、販売を行っている。カメダ熱電の冷却水循環装置は主に分析機器業界向けで、正確な温度制御が求められる研究機関などで使用されている。その微細な温度管理技術が、高精度な分析・研究環境を支えている。コンパクト設計で工事費をかけずに導入でき、目的や分析機器の条件に応じて、一体型とセパレート型を用意している。窒素ガス発生装置も同じく分析装置向けに開発したもので、膜分離方式を採用し、99.9%の窒素純度が得られる。大学や国を代表する総合研究所に同社の製品が多数導入されている。

独自の技術



創業より自動制御盤製造で培った技術力で、自社で電気設計を行い、静音、省エネルギーの冷却水循環装置を製造可能。また、最大 $\pm 0.003^{\circ}\text{C}$ の温度制御技術は国内でトップクラスを誇る。

強み



同社製品を使用する最高峰の研究者たちとの交流が、新製品開発の礎となっている。温度精度、耐久性、安全性などの要望に合わせ、1台からのオーダーメイド設計・製造にも対応する。

今後の展望



顧客のハイレベルな要望に応えるため、温度精度 $\pm 0.001^{\circ}\text{C}$ を目指した冷却水循環装置の開発を進めている。また、医療関係など、新たな市場の開拓にも努めていく。

経営者の声



代表取締役
野田幸侍
さん

私どもの製品は研究機関で多数ご使用いただいておりますが、環境にも配慮した製品ですので、さまざまな工業分野でもご活用いただけます。

株式会社 カメダ熱電(カメダねつでん)

TEL 048-988-3011

E-MAIL noda@kameda-n.co.jp

住 所 / 越谷市大間野町5-253-1

F A X / 048-987-0382

U R L / <http://kameda-n.co.jp/>

創 業 / 1978年12月

資本金 / 1,000万円

従業員 / 8名

主な事業内容

冷却水循環装置、窒素ガス発生装置、理科学機器設計・製造・販売

主な取引先(納入先)

大手電子機器メーカーを通じて、国立大学、総合研究所、製薬会社等



工業分野に特化した水処理設備と 配管製作のプロフェッショナル

高い溶接技術で特殊な 水処理設備にも対応

工業分野に特化した純水製造設備、排水処理設備、その他水処理設備の組み立ておよび付属配管の製作から取り付けまでを行っている。従来の工業用水は、基準に達するように浄化してから排水していたが、現在はその排水をさらに浄化して再利用する設備が求められている。条件に合わせた水処理設備を設計通りに組み立てられる技術と、液体の性質に合わせて鋼管やSUS管、塩ビ管などを選びながら溶接や接着する技術を併せ持つ。この業界で金属と塩ビの配管を同時に取り扱える技術を持つ企業は少なく、種々の工業分野に対応できるため、取引先や導入先は全国各地に及ぶ。



独自の技術



鋼管、SUS管、塩ビ管、サニタリー管などの配管を製作している。各種の配管を溶接・接合する高い技術力で、特殊な水処理設備でも、施設の条件などに合わせながら組み立てられる。

強み



水処理に関する大手プラントメーカー各社と取引している。地域密着の印象が強い管工事業だが、さまざまな工業分野の水処理設備を手掛ける同社は、全国規模で事業展開している。

今後の展望



特定の分野に特化せず、電子、食品、医薬、バイオなど、さまざまな工業分野の水処理設備に取り組んでいく。現在は、医療施設向けの新たな水処理設備の開発・実用化を進めている。

働く人の声



工事部
藤井詠子
さん

私たちが組み立てた設備を設置するため、全国各地の工場などを巡っています。導入が完了したときの達成感にこの仕事のやりがいを感じています。

共同工業 株式会社(きょうどうこうぎょう)

TEL **048-964-3561**

E-MAIL **kyodohon@kyodokougyo.co.jp**

住 所 / 越谷市増森2830-15(本社・工場)
越谷市西方2946-1(西方工場)

F A X / 048-962-0702

創 業 / 1963年8月

資本金 / 3,000万円

従業員 / 33名

主な事業内容

純水製造設備、排水処理設備の組み立ておよび付属配管製作、下水道工事等

主な取引先(納入先)

エンジニアリング、水処理プラントメーカー等

大手企業の生産ラインを設計 故障時の迅速対応で高い信頼

10

京葉 エンジニアリング 株式会社



製造
機械
器具



メカトロニクスを導入 自動検査や省エネにも対応

自動車や電気機器メーカーなどの生産ライン、またはその一部の生産設備を設計し、協力会社に製造を依頼してメーカーに納めている。メカトロニクスを駆使した高い設計力を有し、設備間の製品受け渡しを自動化するなど、自動組立機関係の設計製造を得意とする。また、目視が基本だった検査を自動化する画像検査装置も手がけ、特に精度が要求されるものには3Dカメラを導入するなど、要求に応じた対応が可能。省力合理化設備にも取り組み、ものが流れないときには自動的に電源が切れる仕様も用意している。顧客との30年以上の付き合いは、その技術への信頼ゆえだ。

独自の技術



設計が基本業務だが、特別な短納期での納品が求められた場合は、複数の協力会社に依頼するほか、自社組み立ての対応も可能。どんな納期でも相談に乗っている。

強み



社員5名が設計技術と組立技術の両方を持つ設計技術員。設備の故障時は、原則として即日現場に出向き、即時修理などを行う。競合他社にはない迅速な対応が高い評価を得ている。

今後の展望



画像検査ユニットそのものはどの検査装置でも大きく変わらないことから、画像検査装置の標準化を考えている。それにより、設計・製造効率を上げ、ローコスト化を目指している。

働く人の声



常務取締役
浅子 格
さん

新製品を立ち上げるときは約2年前からお客様と一緒にラインを考えます。情報漏れは絶対に許されないため、同じ製品は絶対に他社には売りません。

京葉エンジニアリング 株式会社 (けいようエンジニアリング)

TEL 048-964-0701

E-MAIL main@keiyo-e.co.jp

住 所 / 越谷市花田4-15-13

F A X / 048-964-0797

創 業 / 1984年4月

資本金 / 2,000万円

従業員 / 10名

主な事業内容

各種専用機械、省力化機械等の設計製造販売

主な取引先(納入先)

自動車メーカー、部品メーカー、建材メーカー、電気機器メーカー、商社



製造
機械器具

11 サンライズ 工業 株式会社

少量・多品種・短納期がモットー 熱交換器の専門メーカー

冷蔵・冷凍機器や空調機の 熱交換器を単品から製作

主に、店舗の冷蔵・冷凍ショーケース用、高層ビルや大型施設の空調用、各種環境試験機の温度調節用などの組込型熱交換器を製造する。市販の標準品だけではカバーできない専用仕様にあわせ、使用条件や環境に応じて、銅・ステンレス管、アルミ・銅・ステンレスのフィンに対応し、管径はφ8～φ15.88mmまで製作可能。このほか医療用および理化学用の恒温槽や冷温水槽も製造している。本社周辺の3工場のほか、分工場が近接地域の草加市、常総市と上海にあり、交通の利便性を活かしてラインを分散するなど、効率的な製造で少量、多品種、短納期を可能にしている。



独自の技術



顧客のニーズに応じた、熱交換器のコンサルティングから熱交換能力設計、製造図面作成、熱交換器および冷凍空調機器の試作・量産から完成検査まで、一貫してサポートできる。

強み



熱交換器の汎用性を活かして、多様な取引先ネットワークを有する。大型の気密検査装置を持ち、ISO9001も取得し品質管理を徹底。排気VOCの減少などの環境保全にも取り組んでいる。

今後の展望



-40℃の超冷温を省エネルギーで実現できる製品開発に取り組む一方、幹部候補となる人材の確保と育成にも注力。また、清掃活動にも積極的に関わり、地域貢献にも力を入れている。

働く人の声



社員の
皆さん

これからも仲間と努力・研鑽を重ね、お客様の多様なニーズに合わせ、さまざまな設計や製作に迅速、的確に対応していきます。

サンライズ工業 株式会社 (サンライズこうぎょう)

TEL **048-988-1511** (本社工場)

E-MAIL **k.takahashi@sunrise.gr.jp**

住 所 / 越谷市川柳町2-546 (本社工場)

F A X / 048-987-8126

U R L / <http://www.sunrise.gr.jp/>

創 業 / 1968年7月

資本金 / 8,800万円

従業員 / 130名

主な事業内容

冷凍空調用熱交換器・冷凍空調機器・医療理化学機器の設計、開発および製造

主な取引先 (納入先)

中野冷機、クボタ空調、エスバック等

切削加工機で生じる誤差を 解消する機上測定機

12

株式会社 ジェイネット



製造
機械
器具



0.01 μ mの表示分解能で 刃物の寸法を計測

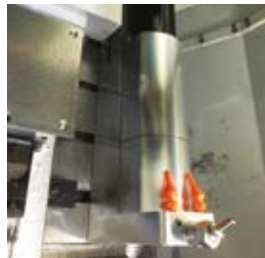
理化学研究所の연구원である社長が設立し、治工具および自動機等の設計製造販売を行っている。主力製品は「ジェイコア」で、回転型加工機に取り付けて、画像処理で刃物の寸法を常時計測監視。測定値を加工機のNCにフィードバックすることで、刃物の加工熱や磨耗によって生じる加工段差・誤差を「0」に近づけることができる。表示分解能力は0.01 μ m。従来は、樹脂金型や耐摩耗表面処理などを手がけてきたが、ジェイコアはその延長線上で発案された。加工段差の解消だけでなく、長時間の自動運転の実現や品質の安定・向上など、ジェイコアのメリットは大きい。

独自の技術



かつては不可能だった細穴など、50 μ m以下の加工ができる独自仕様の超精密機械をメーカーと共同開発。これにより、加工品のX・Y・Zのピッチと真円度は5 μ m以内という精度だ。

強み



精密加工に関する技術とノウハウが大きな強みだ。加工機に後付けするジェイコアは、既存の加工機のほか、国内で年間約55,000台出荷される加工機も対象となり、市場は大きい。

今後の展望



ジェイコアの販売や取り付けを担える企業の協力を得たい。社内では今後も常に現場に寄り添える技術者をOJTで育てたい。理化学研究所での実証実験なども積極的に活用していく。

働く人の声



田島弘彬
さん

研究機関と連携しながら、先端技術に触れ、日々仕事ができることは、なによりも刺激になります。

株式会社 ジェイネット

TEL 048-973-1030

E-MAIL jeyecore@jng.co.jp

住所 / 越谷市平方2083-1

FAX / 048-973-1033

URL / <http://www.jng.co.jp/>

創業 / 1997年5月

資本金 / 1,200万円

従業員 / 5名

主な事業内容

機上測定機の製作販売、治工具の設計、製作、加工

主な取引先(納入先)

トヨタ自動車、デンソー、牧野フライス精機、共立精機、サンケン電気、アマダマシンツール等



13

株式会社 翔和

コンベアメーカーに転換 ノウハウを活かした対応力

部品メーカーとして 培った技術を活かす

「一個からのものづくり」をモットーに、プレス加工から機械加工、製缶、板金まで一貫した加工が特徴。創業以来、コンベアメーカー向けにコンベア用部品を製造していたが、2008年にコンベアメーカーに転換し、自社でオリジナルのコンベアを製造する。主力は、粉粒体および固形物の搬送が可能なバケットコンベアと、粉粒体および脱水ケーキなどの搬送が可能なフライトコンベアで、リーズナブルな標準仕様からオプションまで用意。ともに、水平・垂直・水平搬送が可能である。そのほか、部品加工や舞台用照明の製造、歩車道用のインターロッキングブロックの金型製造も手がけている。



独自の技術



コンベアは基本的には受注生産だが、部品の標準化を進め、常に在庫として管理している。そのため、特殊なもの以外は受注から短納期で納品することができる。

強み



設計部があり5名が在籍。顧客の多様なニーズに対応する開発力がある。3DCADを使いこなし、設計段階で干涉の有無などが迅速に確認できる。

今後の展望



台湾や東南アジアなどへのコンベアの販路拡大を考えている。現在、重荷重に強いコンベア開発を進めており、近く完成予定。これにより、さらに顧客の要望に応えられるようになる。

働く人の声



製造部
坂東文博
さん

コンベアメーカーではありますが、部品一つから対応しています。マシニングはもちろん、大型プレス機もあり、あらゆる部品に対応可能です。

株式会社 翔和(しょうわ)

TEL 048-985-8571

E-MAIL info@j-showa.com

住 所 / 越谷市川柳町2-544

F A X / 048-985-8599

U R L / <http://www.j-showa.com/>

創 業 / 2000年5月

資本金 / 1,000万円

従業員 / 30名

主な事業内容

コンベア製造販売、舞台用照明製造、金型・部品製造

主な取引先(納入先)

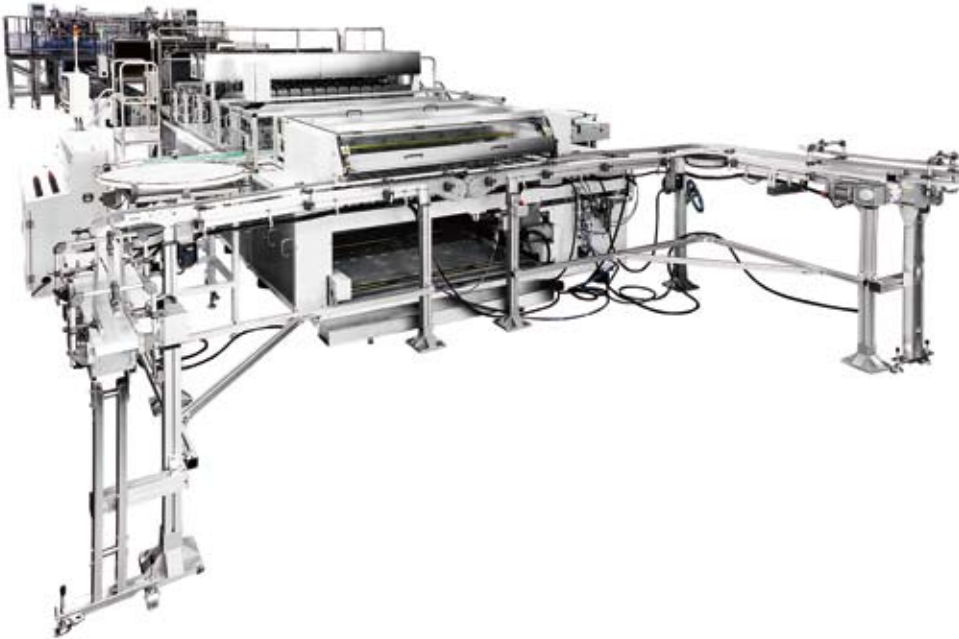
東芝ライテック、テツゲンマテックス、北原工業等

徹底してメカ駆動を極めた カップ自動包装機を製造

14 株式会社 シンセイ



製造
機械
器具



世界中で安定的に 長期稼働する純機械式

創業以来、カム駆動に徹底してこだわり、カップ麺の自動包装機械を主力に、レトルト食品や菓子類の包装機械を製造している。電子制御は最小限にとどめ、あくまで機械での駆動を基本に設計、製造されているため、最新の電子制御ラインと比べて静音性では一步譲るが、耐久性と保守費用も含めたメンテナンス性においては追随を許さない。また、新陳代謝が早い電子部品と比べて機械部品は修理が容易で、ラインの寿命も驚くほど長い。現在、新たな需要が見込まれる海外への輸出にも力を入れており、導入・立ち上げ時に現地で的確な現場判断ができる人材育成を行っている。

独自の技術



蓋シール時のカップの方向など、日本人ならではのこだわりにも対応する独自技術を持つ。異物混入を排除する感知センサーも開発しており、特許を取得している。

強み



ほとんどの製品が受注生産で、完成後1週間の入念なチェックを受けて出荷される。メンテナンスにも気を配り、遠方の顧客にも即時対応している。

今後の展望



食の安全・安心を支えるための技術を開発し続けることはもちろん、技術が活かせるのであれば、新しい分野にもチャレンジしていきたい。

働く人の声



製造
スタッフの
皆さん

誇りを持って仕事をしています。良い機械をつくり、お客様そして何より消費者の皆様に喜んでいただける商品を世に送り出すための努力は惜しみません。

株式会社 シンセイ

TEL 048-987-3131

E-MAIL office@shinsei-mf.co.jp

住 所 / 越谷市西方2945-3
F A X / 048-985-5168
U R L / <http://www.shinsei-mf.co.jp/>
創 業 / 1965年
資本金 / 1,200万円
従業員 / 30名

主な事業内容

各種自動包装機の開発製造・販売

主な取引先(納入先)

東洋水産、エースコック、サンヨー食品、明星食品等



培養機器をはじめとした理化学機器 と産業用チラーを総合提供

恒温振とう培養機では 国内シェアNo.1を誇る

ライフサイエンスの研究向けにさまざまな実験・試験機器を提供している。特にDNAの実験には欠かせない恒温振とう培養機においては国内シェアNo.1を誇る。培養機とは大腸菌や酵母に代表される微生物や、生物の一部である細胞を増殖させるための機器であり、多様な温度域を安定して再現する技術と、大小さまざまな容器を確かかつ均一に振とうする技術が求められる。また、実験机上で使えるほどの省スペース化をいち早く実現し、培養機のパーソナルユースの先駆けとなった。また、理化学機器製造で培われた温調技術を用いた半導体製造装置向けのチラーも製造している。



独自の技術



優れた温度調節技術と多彩なバリエーションを持つ振とう技術がノウハウ。特に振とうの静粛性と低振動においては、他の理化学機器メーカーの追随を許さない。

強み



設計技術者だけでなく、生命科学の学位取得者が製品開発に加わることで、ユーザー視点のモノづくりが可能。バイオ実験用の多様な機器・設備が社内に設置されている。

今後の展望



再生医学やiPS細胞、ワクチン製造といった先端的な分野へと機器を提供することによって、人々の幸せに寄与するとともに、さらなる学術と産業への貢献を果たす。

働く人の声



総務部
山内由佳子
さん

明るくアットホームな会社です。私は総務で社員を陰から支える仕事をしています。弊社のモノづくりが学術と産業に貢献していることを嬉しく思います。

タイテック 株式会社

TEL **048-988-8371**

E-MAIL **senden@taitec.org**

住 所 / 越谷市西方2693-1

F A X / 048-988-8369

U R L / <http://taitec.net/>

創 業 / 1942年

資本金 / 2億2,625万円

従業員 / 110名

主な事業内容

理化学機器、チラーの製造、販売

主な取引先(納入先)

東京大学、京都大学、大阪大学、理化学研究所、第一三共、明治等

マイクロピペットの老舗 特注製品やOEMにも対応

16 株式会社 ニチリョー



製造
機械
器具



高度なリキッドハンドリング ソリューションを世界に提供

化学用体積計製造会社として創立し、国産初のマイクロピペットを開発するなど、高いリキッドハンドリング技術により、ピペットや分注器などの医療理化学機器の製造販売を行う。主力製品のひとつであるマイクロピペットは国内シェア30%を占め、標準的なものから、UV・オートクレーブ滅菌対応モデルや約60万回のピペッティング高耐性モデル、有機溶媒・耐酸性対応モデルなどを揃える。このほか半自動分注器や全自動分注システムまで対応。ノーベル賞を受賞した山中伸弥教授も同社製品を愛用するなど、世界の医療理化学現場へリキッドハンドリングソリューションを提供している。

独自の技術



液体の精密分注技術とロボット制御技術を駆使し、特注の分注装置も手がけ、顧客の細かい要望に応える。OEMにも積極的に取り組んでおり、新たな企業とのコラボレーションにも意欲的。

強み



修理専門の会社を設立し、スピード重視で午前中に届いたものはその日の午後には発送。また、MRA対応JCSS校正事業所としての認定を受けており、高度な品質保証体制を構築。

今後の展望



2014年から再生医療ビジネスへの参入準備を進めている。iPS細胞を作るためには、コンタミネーションが起きない無菌状態の環境が求められ、それに適応した製品づくりに取り組み中。

働く人の声



国内営業部
渡部 守
さん

お客様からさまざまな要望があり、できるかわからないところからスタートします。要望をすべてかなえられたときには、やりがいを感じますね。

株式会社 ニチリョー

TEL 048-989-1301

E-MAIL info@nichiryoy.co.jp

住 所 / 越谷市西方2760-1

F A X / 048-989-1333

U R L / http://www.nichiryoy.co.jp/

創 業 / 1944年5月

資本金 / 3,000万円

従業員 / 80名

主な事業内容

医療理化学機器と医療機器の製造販売

主な取引先(納入先)

大学、研究機関、製薬メーカー、食品メーカー、繊維メーカー



製造
機械器具

17

日本エレベーター製造株式会社

国産品使用と内製化による高品質 独自エレベーターは駅で大活躍

新技術に挑戦する 老舗のエレベーター企業

エレベーターの製造・販売・保守を行っており、国会議事堂や大阪城天守閣、東京ビッグサイトなどに納入実績がある。強みの一つは高品質へのこだわり。安かろう悪かろうにならないよう、一部の集積回路系以外は、ほぼすべて国産品を使用。また、約70%という高い内製化率を誇り、これにより材料の管理のほか、製造した部品も各工程でチェックすることができる。二つ目の強みは、同社が輸入品を参考にして独自に技術開発し、特許を取得した「スクリュー式エレベーター」。超省スペース化が図れ、スペースの限られた鉄道駅で使われている。



独自の技術



スクリュー式エレベーターは鉄道会社と開発。中空軸モーターをネジに貫通させたもので、通常120cm以上必要なピット(穴)が15cmで済む。ロープ式に比べて幅も狭く済む。

品質管理



3DCADを用いたタレパンやレーザーマシン加工により、高品質の製品を供給。メーカーならではのメンテナンス体制も充実しており、「安全・確実」な製品とサービスを提供している。

今後の展望



時代の流れに合った意匠を取り入れた新商品開発や、大学の研究室と連携した新技術開発に取り組みたいと考えている。新入社員を多く採用し、多能工化による効率の向上も目指している。

働く人の声



製備一課長
山下和雄
さん

仲間は皆さわやかで、活気があるいい会社です。スカイツリーのように、日本人なら誰でも知っている建物のエレベーターをつくりたいです。

日本エレベーター製造 株式会社 (にほんエレベーターせいぞう)

TEL 048-987-0111

E-MAIL tadao-tanaka@nichiele.co.jp

住 所 / 東京都千代田区岩本町1-10-3(本社)
越谷市大間野町1-7(埼玉工場)

F A X / 048-987-6338

U R L / <http://www.nichiele.co.jp/>

創 業 / 1935年3月

資本金 / 2億800万円

従業員 / 593名

主な事業内容

エレベーターの製造、販売、保守

主な取引先(納入先)

官公庁、鉄道会社、民間マンション

風の流れを創る技術を熟知した 送風機設計・製造のパイオニア

18 三上鉄工 株式会社



製造
機械
器具



エネルギー効率の高い 製品づくりで環境にも貢献

金属挽物加工から始まり、50年以上にわたり主力の送風機の設計と製造を続けるパイオニアだ。シロッコファン、ターボファン、軸流ファンなどの主力製品は、設計・製造、量産品から単発の特注品まで幅広い対応が可能。特にシロッコファンは、1枚板プレス成型、巻き締め、折り曲げ、リベットかしの主に4タイプの羽根車を用意。数量や用途に合わせて、φ53mmから大型特注のφ1500mm程度まで対応できる。検査や試験設備も備えており、メンテナンス業務にも注力している。地球温暖化防止対策の視点からも、同社への期待はますます大きい。

独自の技術



長年のノウハウの蓄積により、まさに「空気を読む」技術力が品質を支えている。使用環境に合わせた設計に力を入れ、最適スペックでの提案を行うことで低コスト化にも貢献している。

強み



メンテナンスは、自社製の送風機が中心だが、他社製品のオーバーホールなどの相談も受ける。高い技術力により、現物のみで設計図がない送風機の再現にも取り組んでいる。

今後の展望



地球温暖化防止に主眼をおき、CO₂排出量を削減できるエネルギー効率のさらに高い送風機や熱交換機的设计・製造を通じて、社会への貢献につなげていく考えだ。

経営者の声



代表取締役社長
三上樹一郎
さん

送風機は1枚の羽根の角度や形状が数ミリずれただけで風の流れが大きく変わってしまう繊細な機械です。その風を創る技術力が当社の誇りです。

三上鉄工 株式会社 (みかみてっこう)

TEL 048-962-1136

E-MAIL info@miw.co.jp

住 所 / 越谷市宮本町3-133

F A X / 048-966-8338

U R L / <http://www.miw.co.jp/>

創 業 / 1948年4月

資本金 / 1,000万円

従業員 / 12名

主な事業内容

送風機、排風機および熱交換器の設計・製造

主な取引先(納入先)

国内上場企業(約30社)、非上場企業(250社以上)



19

ミナト エンジニアリング 株式会社

優れた設計技術と開発力で 顧客が必要とする機器を実現

短納期、低コストで対応する ファブレス型企業

食品加工機器、リサイクルプラント、化学プラント、自動機・専用機、水処理配管、圧力容器、輸送機械など、顧客のニーズに応じてさまざまな機器やプラントを設計・製造している。短納期、低コストで高品質な製品を提供するため、あえて自社工場を持たず、技術力のある協力工場と提携している。ファブレス型の業態を支えるのは、優れた設計技術と開発力だ。多数のCADソフトを持ち、特に環境に配慮した機器の開発を得意としている。また、創業当時から行っている、設計やプラント工事現場に必要な技術者の派遣も特徴だ。



独自の技術



顧客のニーズに応じて製品を開発・製造するため、すべてが特注の機器。柔軟な発想と独創的なアイデアで、他社が手がけない機器の製造にも取り組み、実績を積んでいる。

強み



顧客や社会ニーズへの柔軟な対応力と設計力が強み。一方で低価格、短納期で高品質の製品を提供。ホームページで納期や制作費を公開できるのは、自信の裏付けでもある。

今後の展望



会社と社会の双方に利益のある製品づくりを目指す。バイオディーゼルの精製装置など、環境問題に取り組んできたが、CO₂削減に貢献できるクリーンエネルギー分野などにも注力していく。

経営者の声



代表取締役
関口順一
さん

設計会社から製作の世界にチャレンジして、27年が経過しました。これからも失敗を恐れず、新しい分野に積極的に取り組んでいきます。

ミナトエンジニアリング 株式会社

TEL 048-979-8091

E-MAIL minato@s-mec.co.jp

住所 / 越谷市千間台東1-7-21
FAX / 048-979-8092
URL / <http://www.mec-s.com/>
創業 / 1988年10月
資本金 / 1,000万円
従業員 / 45名

主な事業内容

省力化機械、リサイクルプラント、食品関連機器等の開発・設計および製作、スタティックミキサーの製作、設計技術者の派遣

主な取引先(納入先)

食品、食品加工、エンジニアリング、医療機器等の各メーカー

多様なシーンに対応できる 高性能な小型NC加工機メーカー

20 モディア システムズ 株式会社



製造
機械器具



精密部品や宝飾品の 加工にも対応するプロ仕様

小型NC加工機、医療機器などの設計、製造、販売を行っている。小型コンピュータシステムの設計力に優れ、主力製品である小型NC加工機を1987年に開発した。「Mini Miller」のブランド名でシリーズ展開しながら機能を進化させている。大容量データの高速処理ができるため、精密部品や宝飾品など、微細なものの切削加工ができる。また、医療機関でも歯科技工などの分野で導入されている。最新機種ではセラミック、ガラス、チタンなどの難削材も加工できる。また、NCデータ転送装置などの周辺機器も豊富に揃えている。

独自の技術



主力のNC加工機は、小型だがプロフェッショナルユースに対応する機能を搭載している。最多5軸の同時制御が可能で、最高回転数5万rpmの超高速スピンドルを標準装備している。

強み



NC加工は顧客によって切削内容や工程が千差万別なため、機械はカスタマイズしてから納品している。微細な要望にも対応しながら製造しており、メンテナンスも手厚い。

今後の展望



医療分野に本格的に進出するため、2012年に医療機器製造業許可を、2014年には医療機器製造販売業許可を取得した。歯科技工向けの小型NC加工機を中心に製造販売していく。

働く人の声



営業技術
高橋道明
さん

お客様に納めた製品はすべて詳細に記録を残しています。お客様に密着した技術的なサポートやメンテナンスを心がけています。

モディアシステムズ 株式会社

TEL 048-971-6341

E-MAIL info@modia.co.jp

住 所 / 越谷市東越谷4-6-12

F A X / 048-971-6474

U R L / <http://www.modia.co.jp/>

創 業 / 1981年9月

資本金 / 3,675万円

従業員 / 15名

主な事業内容

小型NC加工機、NCデータ転送装置、医療機器の製造・販売

主な取引先(納入先)

精密機器メーカー、各種研究所、医療機関等



「Japan Quality」にこだわる 特殊医療針メーカー

信頼の製品を提供する グローバルニッチ企業

脊髄くも膜下麻酔針・硬膜外麻酔針を中心として、生検針や血管造影針などの医療用の特殊針に特化した専門メーカーで、設計・製造・販売を一貫して行う。日本での製造にこだわり、「Japan Quality」を意識した製品は世界的に信頼性が高く、世界50カ国との取引がある。ニッチな市場ながら、脊髄くも膜下麻酔針の世界シェアは約30%を誇る。精密な加工と細心のこだわりで製造される製品は、長さや太さ、針先形状などのバリエーションも豊富で、多品種少量の需要にも対応。また、インフォームドコンセントや医療現場での教育に使われる針模型も販売している。



独自の技術



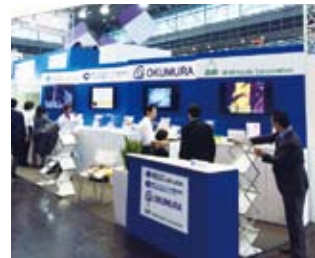
日本製にこだわり、協会社も含めてすべて国内でものづくりを行う。また、熟練社員による目視検査を徹底するなど、品質管理に細心の注意を払い、信頼できる製品を提供している。

強み



創業時から一貫して、主たる顧客を国外に求め、製品の約90%が海外へと輸出される。海外取引の経験やノウハウで、年々厳しさを増す各国の薬事規制に対応する能力を持つ。

今後の展望



国内中小企業と連携して医療機器関係の国際展示会に出展し、日本製・日本品質を世界に発信するとともに、企業間連携による相乗効果として、製造能力や品質、コスト競争力を高めていく。

働く人の声



製造本部長
佐藤 栄
さん

弊社は海外の取引先の要望もあり、素材段階から100%純日本製にこだわって誠実かつ真摯に製造しております。安心をお届けする努力は惜しみません。

株式会社 ユニシス

TEL 03-5812-8830

E-MAIL unisis-co@unisis.co.jp

住 所 / 東京都台東区台東4-11-4 三井住友銀行御徒町ビル7F(本社)
越谷市西方2675-1(埼玉工場)

F A X / 03-5812-8831

U R L / <http://www.unisis.co.jp/>

創 業 / 1978年9月

資本金 / 2,340万円

従業員 / 178名

主な事業内容

医療用針の製造、販売

主な取引先(納入先)

欧州、豪州、北米、南米、南アフリカ、東南アジア、中近東など50カ国

口腔水分計「ムーカス®」を開発し、 迅速なドライマウス診断を実現

22

株式会社 ライフ



製造
機械
器具



2秒で高精度に検査する 独自技術で特許を取得

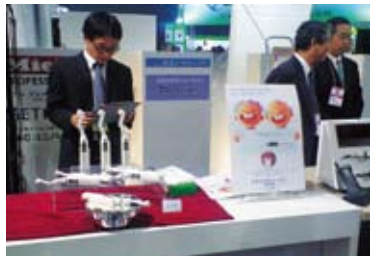
医療機器をはじめ、育児用品、介護用品、日用雑貨品の企画開発、製造および販売を行っている同社は、肺炎の中でも特に多い高齢者の誤嚥性肺炎の最大要因であるドライマウス（口腔乾燥症）の予防や口腔ケアの必要性に着眼。埼玉医科大学を中心に、国内有数の大学病院と臨床研究を重ねるとともに県内の製造者と連携して、口腔水分計「ムーカス」を開発した。第二種医療機器製造販売業許可を取得し、2010年には医療機器承認を得た。これを使用することで、従来多くの手間と時間がかかったドライマウス診断を、瞬時に的確に行うことができる。

独自の技術



ムーカスによる測定は約2秒で終わり、測定結果を数値で表示。患者への負担が少なく、口腔内の乾燥状態が視覚的に確認できる。なお、従来のガムテストと同等以上の精度で測定可能だ。

強み



口腔水分計という狭い分野に特化することで、技術者の力を集中でき、品質、安全性、価格などで優位性を持つ。独自特許を持つため、医院や病院向けの市場では、国内外独占状態である。

今後の展望



大学や病院、研究機関などとも連携しながら、口腔水分計の保険適用やドライマウス診断の世界標準化を目指している。また、新製品開発や口腔内以外の粘膜への応用にも取り組んでいる。

経営者の声



代表取締役
古川 誠
さん

医療イノベーションを埼玉から始め、埼玉発の世界標準化を目指しています。若い人にほどチャレンジしてほしい分野。ぜひ飛び込んでください。

株式会社 ライフ

TEL 048-990-8201

E-MAIL info@life-qol.net

住 所 / 越谷市登戸町15-5

F A X / 048-988-3901

U R L / <http://www.life-qol.net/>

創 業 / 1989年8月

資本金 / 9,700万円

従業員 / 5名

主な事業内容

医療機器の企画開発および製造、販売

主な取引先(納入先)

ムトウ、タイセイ等

23

セリック
株式会社電子・電気
機械製造自然太陽光を再現した
世界初の人工太陽照明灯を開発国内の多くの企業が採用
する高いブランド力

照明器具、電気機械器具などの設計、製造販売をしている。同社の名を一躍広めたのは、1986年に現会長の佐藤泰司氏が開発した世界初の人工太陽照明灯だ。太陽光と同等の可視光線（晴天時の正午±2時間に地表に到達する太陽光と同じスペクトル）が再現でき、色彩を正確に判断することが求められる自動車等の塗装や写真関連の技術研究に革新をもたらした。エネルギーや紫外線も太陽光と同等に再現できるため、太陽電池などの屋外評価試験や医薬品、化粧品、バイオテクノロジーの試験など、多岐にわたる産業分野の研究や開発に展開を見せている。



独自の技術



自然太陽光を高精度に再現した人工太陽照明灯は、世界で初めてセリックが開発し、現在でも世界最高水準を誇る。応用機種種のソーラーシミュレーターも多数開発している。

強み



人工太陽照明灯は、広範囲な分野の大手メーカーで導入されており、特注品にも対応している。こうした導入実績は営業力を強め、多種多様のプロモーション手法を確立させた。

今後の展望



欧米を中心とした海外展開を視野に入れている。大手自動車メーカーなど、世界的に知られる多くの日本企業への導入実績をセールスポイントに、販路を広げていく考えだ。

働く人の声

管理部主任
奥岩 謙
さん

2000年に越谷市に設立したテクニカルセンターで勤務し、製品の在庫と出荷の管理をしています。セリックの製品を世界中に届けるのが目標です。

セリック 株式会社

TEL 03-3555-2261

E-MAIL serinfo@seric.co.jp

住 所 / 東京都中央区入船3-1-2-505(本社)
越谷市七左町7-334-1(テクニカルセンター)

F A X / 03-3555-2262

U R L / <http://www.seric.co.jp/>

創 業 / 1984年12月

資本金 / 5,700万円

従業員 / 13名

主な事業内容

照明器具、電気機械器具、電子応用機械器具等の設計・製造販売

主な取引先(納入先)

自動車メーカー、電気製造メーカー、化粧品メーカー、バイオ等の大手工場企業等

産業用トランスに特化 1万種類以上を提供

24

東京トランス 株式会社



電子・電気
機械製造



少ロット多品種対応で 大半がオーダーメイド

大手重電メーカーが製造するような標準品ではなく、機械や実験設備に組み込まれる少ロット多品種生産の変圧器が主力商品である。製品群は相数や容量で分類すると1万種類に及ぶ。50/60Hz品では配電用（露出、ケース入り）などを製造し、需要が多いものは単相・三相・スコット逆V、5VA～300kVA、防滴仕様などの多種類が標準設計で用意されている。インバータ用高周波変圧器も1～100kHzが用途別専用設計で対応しているほか、太陽光や風力発電、直流交流変換用のリアクトルも空芯/鉄芯、0.25～100mH、10～50Aと多種用意している。

独自の技術



蓄積してきた設計技術や生産設備、測定設備を駆使し、信頼性の高い製品が提供できる。小型変圧器は300VA～4kVAで標準化され、絶縁型、単巻ともに安価に提供可能である。

強み



電気系卒の営業職を採用することで、顧客との打ち合わせの円滑化を実現。また、自社工場で一貫生産を行っており、標準品も特注品も、ともに短納期を可能にしている。

今後の展望



現在は平均約1か月かかっている納期をさらに短縮することを目標としている。直流交流変換用変圧器やグリッド発電に使うリアクトルなど、取り扱う分野を広げたい。

経営者の声



代表取締役社長
水野剛宏
さん

豊富なアイデアやノウハウ、どんなご要望にも乗り越えていく精神で、他社が無理だと諦める部分も手がけていることに強みがあると思っています。

東京トランス 株式会社(とうきょうトランス)

TEL **048-988-7251**(越谷工場)

E-MAIL **sales4_eng@totora.co.jp**

住 所 / 東京都台東区根岸3-18-16(本社)
/ 越谷市七左町4-8(越谷工場)

F A X / 048-988-7253

U R L / <http://www.totora.co.jp/>

創 業 / 1963年11月

資本金 / 1,000万円

従業員 45名

主な事業内容

変圧器、リアクトルの企画、設計、開発、販売

主な取引先(納入先)

国内外の多種メーカー

25

ヒーロー電機 株式会社



電子・電気
機械製造

顧客満足度が高い 製品開発力と提案力

自動車、産業機械、建設機械、船舶をはじめとした配線修理に使う端子、ワイヤーハーネス、バッテリーターミナルなど、プロ仕様の補修部品を製造販売している。生産ライン向けではなく、修理時に使いやすい仕様の製品群が特徴だ。取り扱うアイテムは自社製品、仕入品を合わせて約500種類と豊富な品揃えを誇る。売上げの8割強は自動車用の補修部品で、厳重な品質チェックを経て納品する。また、長年の実績とノウハウを活かし、品質を下げずにコストダウンできる方法も提案している。組立工程の変更や過剰スペックの見直しなど、お客様目線の上質なサービスが評判だ。

他社にはない豊富な品揃え 自動車用補修部品業界のヒーロー



独自の技術



補修専用開発、設計された製品を製造販売しているので、プロの整備士から「作業がしやすく高品質」と定評がある。特にギボシ形圧着配線ターミナルは自社ブランドのロングセラー。

強み



過去のデータから商品の流れを見て在庫と生産の管理を徹底し、欠品がないよう努めている。他社で入手困難な製品も多数扱う。ISO9001、ISO14001の認証も取得。

今後の展望



現在、ブランド力の強化とともに自動車業界以外の市場開拓を展開中。ホームページからの問い合わせも多く、海外からのアクセスも増えているため、英文のコンテンツを作成予定。

働く人の声



生産管理部 主任
大石 将人
さん

補修部品の製造はニッチな仕事ですが非常に奥が深いです。コストに見合う、またそれ以上に良い製品を提供できるように頑張ります。

ヒーロー電機 株式会社(ヒーローでんき)

TEL **048-962-1671**
E-MAIL **info@hem.co.jp**

住 所 / 越谷市増森1544-8
F A X / 048-962-1670
U R L / <http://www.hem.co.jp/>
創 業 / 1966年6月
資本金 / 3,000万円
従業員 / 25名

主な事業内容

配線ターミナル、バッテリーターミナル、配線部材、各種圧着工具などの製造販売

主な取引先(納入先)

日立オートパーツ&サービス、日立オートモティブシステムズエンジニアリング、UDトラックス等

高度な加工技術を持つ ハーネス専門のメーカー

26

株式会社 マルニックス



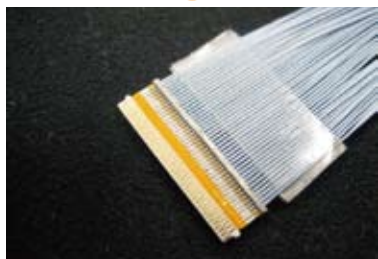
電子・電気
機械製造



海外生産による低コストと フレキシブルな短納期対応

同社のハーネスは事務機やエレクトロニクス機器、医療機器、アミューズメント機器など、さまざまな製品に使われている。デジタル機器の小型化や薄型化が進むにつれ、優れた高周波性能と省スペース設計が求められ、手間のかかる高度な加工技術が必要となる。そこで独自治具の開発や生産設備の改良などを行うことで、生産効率の向上を図っている。中国・タイ・カンボジアに生産拠点をもち、低コストを実現しながら、顧客ニーズにリアルタイムに応えられる体制を構築。9割以上の製品を海外工場で生産するが、日本で最終検査を行うなど、常に安定した品質の製品づくりを行っている。

独自の技術



高周波性能と優れた捻回・屈曲性を持つ超極細同軸加工が得意。生産設備の改良や独自治具の開発により、40～46AWGまで、コネクタピッチは0.25pitchまでの量産実績を持つ。

強み



製品の加工内容や生産量、納品場所などを考慮し、最適な生産拠点でフレキシブルに対応。国内生産のハーネスは、自動機で製造が賄え、短納期のアミューズメント用が多い。

今後の展望



光ケーブルを素材にしたコネクターなど、新製品の開発にも力を注いでいく。また、基盤付きハーネスの開発など、既存製品の高付加価値化にも挑戦している。

働く人の声



本社工場 課長
齊藤義之
さん

本社工場
濱田健文
さん

主な仕事は工場内の調整、生産管理、機械の保守ですが、思いついたことを上司に相談し、すぐにトライさせてもらえるのはありがたいです。

株式会社 マルニックス

TEL 048-965-0200

FAX 048-965-2327

住 所 / 越谷市増林6794-2(本社)
越谷市増林3500-1(本社工場)

U R L / <http://www.marunix.co.jp/>

創 業 / 1973年9月

資本金 / 3,000万円

従業員 / 70名

主な事業内容

ワイヤーハーネスおよび機構部品の製造、販売

主な取引先(納入先)

電機、光学機器、精密機器のメーカー

「見る人を感動させる照明をつくる」
板金加工から組み立てまで一貫製造レーザー加工技術と提案力で
照明器機の受注製作

照明は、単なる明かりではなく、その場の雰囲気やイメージを演出し、人間の心を感動させることができる。そのような想いを込めて、和光製作所は、照明器機、モニュメント、看板、建築金物を製作する。受注の8割はオーダーメイドで、国内では都内をはじめとする大型商業施設やホテル、銀座マリオンなどの街なかイルミネーション、海外でもホテルや観光施設などで豊富な納入実績を持つ。技術の確かさはもとより、岩槻工場のレーザー加工設備を活かした一貫製造や、豊富な実績に裏打ちされた提案力に対する顧客の信頼は厚い。



独自の技術



企画から基本構想、製作、施工、補修などのメンテナンスまで一貫して引き受ける。レーザー加工設備を活用し、照明の固定用金物や落下防止用ワイヤーなどの付属製品も自社提供している。

強み



技術だけでなく、実績に裏付けされた空間演出を含む照明デザインに強い提案力を持つ。板金加工経験者や定年後の人材を活用しつつ、技術継承を行いながら技術力の高い人材を育てている。

今後の展望



既存の取引先照明メーカーからの受注を増やしつつ、レーザー加工技術を活かして、照明器具本体にこだわりすぎずに、他社が手がけないような照明関連の金属製品などを増やしていく。

経営者の声

代表取締役
山田三三夫
さん

ただの製品として完結して終わらず、明かりは文化や環境を含めた感性に触れる空間であると考え、機能的で美しい照明をつくり出しています。

株式会社 和光製作所 (わこうせいさくしょ)

TEL 048-985-5581

FAX 048-987-2770

住所 / 越谷市七左町6-182-2

創業 / 1976年4月

資本金 / 1,000万円

従業員 / 24名

主な事業内容

照明機器、サインなどの製造販売

主な取引先(納入先)

大型商業施設、照明機器メーカー等

自動車産業の発展を支える 試作部品製造のプロフェッショナル

28

株式会社 秋山



顧客の要望に応じた部品 加工を実現する職人技

試作板金メーカーとして、ショーモデルや試作開発車両、外板部品、レース部品など、高度な技術を要する部品の加工を行っている。原点は、自動車の修理部品が今ほど簡単に入手できなかった時代に、輸入する部品を待ちきれない顧客のため1枚の鉄板から部品を作り上げて修理したことだ。鉄板を自在に形成する高い技術力と対応の速さが評判となり、大手自動車メーカーから試作部品製造を請け負うまでになる。設計者の要望通りの試作品づくりはもちろん、量産を見据えた提案も行える。設計からの一貫生産で、短納期とコスト低減を実現させている。



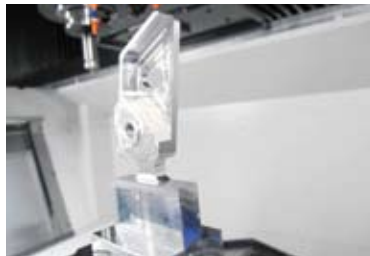
金属加工

独自の技術



ウルトラハイテン材などのCAE解析では成形が困難な加工であっても、プレスやハンドワークを駆使しながら加工を進められるほか、マグネシウムのプレス加工にも取り組んでいる。

強み



3次元金型設計のほか、マシニング、プレス、レーザー、ハンドワークによる加工や鋳造、組み立て、検査まで一貫対応が可能。自動車のボディー製品はすべてつくることができる。

今後の展望



大手自動車メーカーとの直接取引を強化するため、新たな営業所の開設を計画。自動車の試作部品以外にも、福祉機器や住宅関連機器の製造など、事業領域を広げていく考えだ。

経営者の声



代表取締役社長
秋山裕二
さん

会社にとって最大の価値は技術者です。製品の品質向上のための社員研修をはじめ、叩きの基本や酸素溶接など、若手社員への技術指導は怠りません。

株式会社 秋山(あきやま)

TEL 048-977-2029

E-MAIL info@manufacture-akiyama.com

住 所 / 越谷市南荻島1201-2(本社工場)
越谷市南荻島1177-6(第二工場)

F A X / 048-977-2714

U R L / <http://www.manufacture-akiyama.com/>

創 業 / 1969年3月

資本金 / 1,000万円

従業員 / 30名

主な事業内容

自動車用部品試作車製造

主な取引先(納入先)

自動車関連メーカー

29

株式会社 アドバンス パーツ

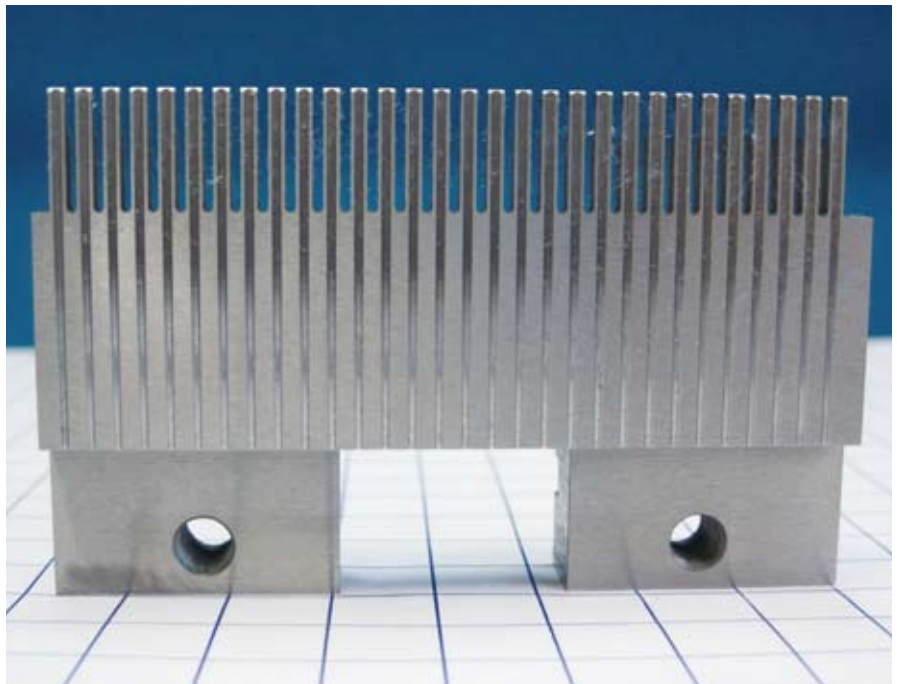
「手のひらに載る大きさの物なら 何でも作る」加工のスペシャリスト



金属加工

あらゆる材料を希望の 形状に加工が可能

金型部品や各種機器部品、製造関連治工具などの精密・複雑な形状加工に特化しており、加工するサイズはφ0.1mm程度から500mm角くらいまで。小型NC旋盤や縦・横型MC、成型・平面研削盤、放電加工機、ワイヤーカット、内外径研削盤、フライス盤、その他の工作機械と検査器具を多数保有し、モールド/プレス/圧粉用金型の各部品や機械部品などを精密加工している。AL・SUS・チタンをはじめ、各種樹脂、超硬・セラミックス、ルビー、ダイヤモンドなど幅広い材質に対応。用途は、半導体製造機械やハイブリッドカーの電池、LED製造装置、医療関係機器など多岐にわたる。



独自の技術



熟練の技術力と「ワークス'50」との連携により、木・マグネシウムを除く市販材料ならすべて加工可能。形状も丸角問わず、精度は幾何公差を含め±0.003mm～5mm程度を実現。

強み



技術力を見定めた全国の工場と提携し、技術者集団「ワークス'50」を構築。相互協力で、加工困難なパーツや図面がないパーツにも対応。協力工場の利用でM級の精密加工も可能だ。

今後の展望



ネットワークのさらなる強化と自社技術陣の能力向上を図りたい。NCネットワークのエミダス工場検索や発注情報掲示板を通じての広範囲な受注も広げていく。

経営者の声

代表取締役
川野英夫
さん



物理的に可能なことは何でもやります。この仕事は好きでなければできない仕事。負けたくない精神で高い品質と納期には自信があります。

株式会社 アドバンスパーツ

TEL 048-973-5010

E-MAIL info@advanced-parts.co.jp

住所 / 越谷市上間久里417-1

FAX / 048-973-5015

URL / <http://www.advanced-parts.co.jp/>

創業 / 1988年11月

資本金 / 1,500万円

従業員 / 7名

主な事業内容

金属部品の開発・製造

主な取引先(納入先)

電子部品製造、半導体製造、金型、電線、各種FA製造装置等の精密機器関連メーカー

金型製作と金属プレス加工の 高い技術力で新分野を開拓

30 石井プレス 工業 株式会社



大型製品にも対応できる 技術と生産ライン

金属プレス加工や精密金型製作などを行っている。創業当時から音響機器や映像機器の部品製造に強く、黒色などで表面処理された鉄板を傷つけずにプレス加工できるのは同社ならではの技術で、大手家電メーカー各社の注文を一手に受けてきた。ビデオデッキ、DVDプレイヤー、液晶テレビといった映像機器の変遷は、まさに同社の歴史だ。現在は、金型製作技術を活かして、木質ボードと鉄板を組み合わせた新たな床材を大手建材メーカーと共同で開発し、主力ラインとして製造を始めた。独自の技術で新たな分野を切り開いている。



金属加工

独自の技術



約1万㎡の敷地を有し、需要に応じてさまざまな生産ラインが設置可能。また、大型設備を持ち、金属プレス加工や金型製作は3m規模の大型製品にも対応できる。

強み



金型製作は特に高い技術力を持ち、売上げの50%を占める。多くの企業が海外に生産拠点を移した際も高度な金型は現地できれず、同社に発注された。現地での技術指導も多数実績を持つ。

今後の展望



大手建材メーカーと共同開発した床材の生産ラインを設置。軽量化により、運搬や設置が容易で、高層ビル建築に適している。東京五輪に伴う建設ラッシュを見込み、増産体制を強化している。

経営者の声



代表取締役
松崎 司
さん

これからの時代、製造時に出る熱を使って発電するなど、製品を生み出しながら環境にも配慮した付加価値のある工場を目指しています。

石井プレス工業 株式会社(いしいプレスこうぎょう)

TEL 048-986-7151

E-MAIL master@ishii-press.co.jp

住 所 / 越谷市新川町1-23

F A X / 048-987-9035

U R L / <http://www.ishii-press.co.jp/>

創 業 / 1948年3月

資本金 / 4,590万円

従業員 / 25名

主な事業内容

精密金型の製作・加工、プレスおよび板金加工

主な取引先(納入先)

家電、音響機器、建材等の各メーカー

31

株式会社 大西歯車 製作所

経験の力がものをいう 歯車切削一筋60年



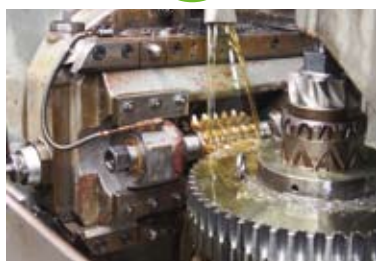
金属加工

摩耗した古い歯車も 復元・複製可能

IHIを退社した創業者が、同社の運搬機械用歯車、ギヤーポンプ用歯車、印刷機用歯車の歯切工場として出発。その経験を活かし、やや大型の荷重がかかる歯車を製作することが多い。歯車切削の主力である14台のホブ盤をはじめ、キー溝盤（キーシート）、歯車形削り盤（ギヤセーパー）、歯車研削盤、歯切り盤、ラック歯切り盤など、歯車製造に必要な機械を新旧取り混ぜて保有している。主に直径50～2,500mmの歯車の切削を請け負い、長軸の歯車も歯切りできる。多品種、少量や一品物も作成可能。材料からの削り出しで、素材は鉄、プラスチック、ガラス素材などが加工できる。

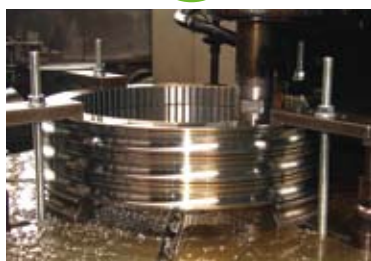


独自の技術



60年の実績がある熟練技術で、元の図面が不在の摩耗・損傷した歯車でも図面起こしから復元製造が可能。また豊富な経験を活かし、難易度の高い切削でもこまやかに対応できる。

強み



外歯、内歯、ラックなど、歯車部品の設計から製作まで一貫生産できる。大手企業との長年の取引による技術の蓄積とマンツーマンの技術伝承を背景に、安定した品質を実現している。

今後の展望



十数人いる技術者の中でも、特に20代の若手技術者4人の人材育成に注力している。70代の熟練技術者からの技術伝承を進め、他社にない品質、歯車のプロによる製品を提供したい。

経営者の声



代表取締役会長
大西孝一
さん

少量でもお客様の求めるものを、求められている中で最上の品質で提供することをモットーに、「歯車なら大西」の誇りを持って仕事をしております。

株式会社 大西歯車製作所 (おにおしはぐるませいさくしょ)

TEL 048-988-0024

FAX 048-989-1003

住所 / 東京都台東区鳥越1-7-2(本社・工場)
越谷市登戸町41-28(越谷工場)

創業 / 1951年4月

資本金 / 1,200万円

従業員 / 15名

主な事業内容

歯車、機械部品製造

主な取引先(納入先)

国内の各種メーカー

大型マシニングセンタを導入し 長さ1,500mmまでの大型部品を加工

32

有限会社 川本製作所



1~10個の超小ロットで 難易度の高い仕事を受注

産業機械部品や石油プラント部品、自動車の試作品部品などの金属切削加工を行っている。多くの同業他社が断るような加工難易度が極めて高い特殊な部品を多く扱っており、1~10個、多くても50個という超小ロットを専門としている。マシニングセンタ4台、NC旋盤1台の設備だが、特徴的なのは大型の金属加工が可能なこと。大型設備は高価なため所有している企業はそう多くないが、同社は積極的に投資し、大型部品加工の仕事を次々と受注している。加工が難しいものは自社で3DCADを使って治具を製作して対応しており、特殊な部品加工を請け負える原動力となっている。



金属加工

独自の技術



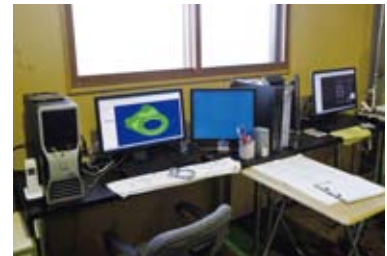
10年前から3DCADを導入し、部品メーカーなどが作成する3Dデータが取り扱える。3DCADで治具を自社設計し、マシニングセンタで製造するため、特殊部品でも短納期での加工が可能だ。

強み



10mm角という小さな部品も加工できるが、同社が中心に加工しているのは500~600mmほどの大きさのもの。最大で1,500mmまで加工可能。素材は鉄、アルミ、ステンレスがメイン。

今後の展望



大型部品が加工できる強みを活かし、航空機分野への参入を目指している。5軸加工機の導入も視野に入れ、3DCADデータを流すだけの仕組みをつくり、短納期と高精度の実現を図る。

経営者の声



代表取締役
川本良司
さん

現在はマシニングで治具をつくっていますが、将来的には3Dプリンタを導入し、それで治具をつくってよりスピーディーに納品できないかと考えています。

有限会社 川本製作所 (かわもとせいさくしょ)

TEL 048-989-8331

E-MAIL kawamoto-ss@jcom.zaq.ne.jp

住 所 / 越谷市相模町5-208-2(本社・工場)

F A X / 048-947-7402

創 業 / 1989年5月

資本金 / 300万円

従業員 / 4名

主な事業内容

金属加工業

主な取引先(納入先)

部品メーカー、金型メーカー

33

有限会社 サクラ製作所

ステンレスの円筒形溶接に特化した タンク製造技術



金属加工

細部にこそこだわる 丁寧な溶接加工

通常、タンクの内部を細かく確認する機会はありません。同社は「同じ能力でも美しく」をモットーに、この見えない部分の細部にもこだわる丁寧な溶接で、安定した強度と傷一つない美しい仕上げを両立している。特にステンレスの円筒形溶接を得意としており、ろ過器用の円筒形タンクを顧客の図面をもとに製作、設置まで行っている。また、理化学用のステンレス機器の製造も受注しており、高品質な円筒形溶接の技術を誇る。耐圧性を保ちながら一部をプラスチックと接合するなど、異なる素材を組み合わせた複雑な構造を持つタンクの製造も可能だ。



独自の技術



熟練の技術により、精密に溶接、製作された円筒形タンクの用途は、液体タンクからエアータンクまで多岐にわたり、いずれも高い耐圧性を誇る。

強み



使用するステンレス材の厚みは1.0～6.0t。対応可能なサイズは直径80～1,000mm超。高さも構造に応じて対応可能。図面からの製作、仕上げまでを熟練の溶接工が一貫して行う。

今後の展望



深絞りで強度を上げつつも価格を下げるなど、新しい溶接の技術を採用し、技術向上を図っている。タンク製造を一貫して行える技術者育成に力を入れ、円筒形溶接の高い技術を維持していく。

経営者の声



代表取締役社長
佐藤 誠
さん

丸型、円筒形のタンクをつくる技術は、ただの溶接とは別物です。円筒形のタンクに特化し、見た目にも美しく仕上げる技術には自信があります。

有限会社 サクラ製作所 (サクラせいさくじょ)

TEL 048-962-0191

E-MAIL sakurass-m@nifty.com

住 所 / 越谷市増森1544-12

F A X / 048-965-5882

U R L / <http://homepage3.nifty.com/sakurass/>

創 業 / 1974年3月

資本金 / 500万円

従業員 / 7名

主な事業内容

ステンレス製品、板金加工、溶接加工

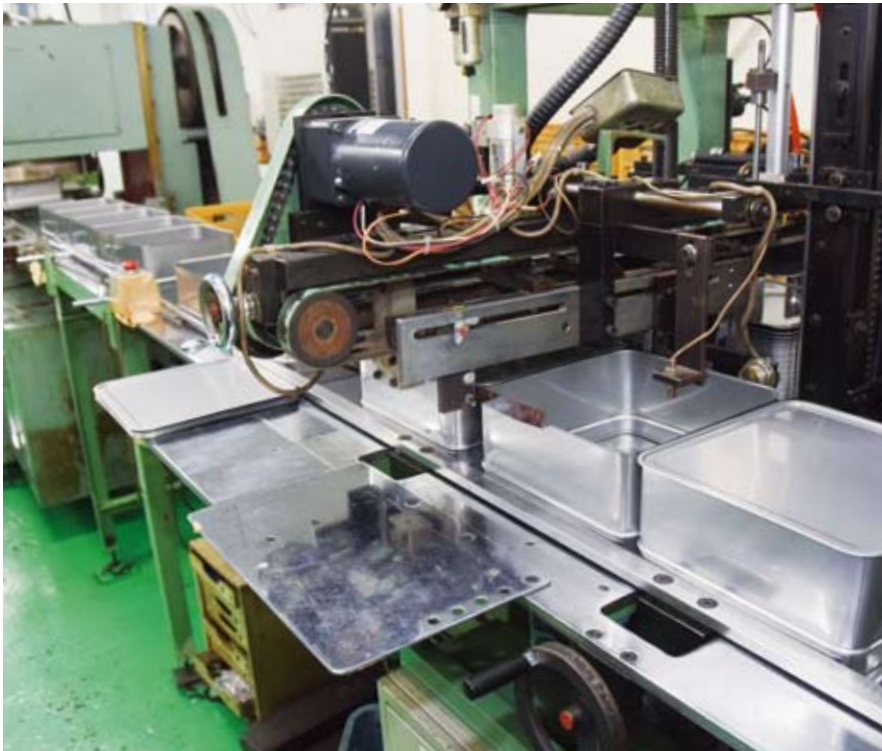
主な取引先(納入先)

新菱アクアエア、日本精機製作所、日本ドライケミカル、ATSジャパン

迅速な型換えと豊富な型で 幅広いオーダーに細かく対応

34

三協製罐工業 株式会社



小ロット多品種対応で 時代の流れにも順応

売上比率は、海苔缶、せんべい缶、クッキー缶などの缶容器製造が90%、残り10%がプライスボードなどの看板制作だ。リーマン・ショック後の原材料の高騰によって「缶から紙箱へ」の流れが進み、同業他社が次々と消えていったが、同社は大きな影響を受けなかった。理由は顧客の要望に柔軟に対応し、小ロット多品種の要望に応えられること。価格的にオリジナル缶制作が難しい顧客向けには多種の既製品も用意し、常に豊富な在庫を確保することで、すぐに納品できる体制を構築するなど、こまやかな配慮とサービスを心がける。取引先は、北は北海道から南は九州まで約200社に上る。



金属加工

独自の技術



小ロット多品種に対応できるのは、型のスピーディーな入れ替えを実現していることによる。型換えには1日かかるが、缶製造ラインとは別に型換えラインを用意して効率化を図っている。

強み



缶製造に欠かせないのは型。1セット500万円ほどもするため、新規に型からつくる顧客は少ないが、30種類の既成の型を用意し、顧客の要望に応えている。

今後の展望



缶表面の印刷はシンプルなものシルク印刷で自社対応しているが、複雑なデザインは外注している。今後UV印刷機を導入することで内製化し、高精度かつ短納期を目指している。

経営者の声



代表取締役
斉藤重雄
さん

何千個というオーダーはもちろん、100個だけというオーダーも請けています。当社の売りは大手にない細かいフットワーク。ぜひ一度体験してください。

三協製罐工業 株式会社 (さんきょうせいこんこうぎょう)

TEL 048-985-2935

E-MAIL syoji10@live.jp

住所 / 越谷市西方2643-1

FAX / 048-985-2924

創業 / 1935年6月

資本金 / 1,000万円

従業員 / 16名

主な事業内容

缶製造、看板制作

主な取引先(納入先)

海苔問屋、製菓メーカー、玩具メーカー等

35

有限会社 成起工業所

「なんでも挑戦」をモットーに 他社が嫌う難素材も加工



金属加工

難削材加工技術を持つ 一方で量産ものにも対応

主力機械に複合NC旋盤3台とNC旋盤2台を使った金属・非金属部品の製造を手がけている。モットーは「なんでも挑戦すること」。加工が難しいものでもできるだけ引き受ける。鉄のほか、航空機のジェットエンジンや自動車の呼吸マフラーに使われるインコネル、ステンレス64チタン、純チタンなどの難削材の加工技術を持つ。インコネルを加工できる企業は関東では極めて少ない。難削材加工や薄物加工などの高精度な小ロット生産に強みを持つ一方で、量産ものにも力を入れ、月に3,000個単位の製造にも対応できる。



独自の技術



材料によって回転の仕方、スピードなどを工夫して技術的に難しい素材も加工。薄物加工にも強く、1,000分の8mmの誤差で仕上げ、インコネルでは0.8mmの薄さまで加工が可能。

強み



材料の在庫があること、材料を持ち込んでくれることが条件だが、独自のノウハウと生産体制により「同業他社より20%は早い」短納期を実現し、顧客の期待に答えている。

今後の展望



新たに小型のNC旋盤を導入予定で、これにより量産体制の強化を目指している。難しい小ロットのものと量産の2本柱で、今後も展開していく予定だ。

働く人の声



並木克仁
さん

昔から父を尊敬しており、大学卒業後に迷わず入りました。なんでもつくれるようになりたいです。自分の力でもっと大きな会社してみせます。

有限会社 成起工業所 (せいきこうぎょうしょ)

TEL 048-966-7397

E-MAIL j.seiki@kxb.biglobe.ne.jp

住 所 / 越谷市元柳田町6-60

F A X / 048-966-7383

U R L / <http://www7a.biglobe.ne.jp/~j-seiki/>

創 業 / 1978年5月

資本金 / 300万円

従業員 / 5名

主な事業内容

金属部品・非金属部品製造

主な取引先(納入先)

建設機械メーカー、農機具メーカー、造船会社、鉄道会社等

JIS0級を保証する ミクロン単位精度の研磨技術

36

株式会社 精密歯研 工業所



歯車加工の最終工程を担う スペシャリスト

歯車製作での前工程は焼き入れであり、最終工程は硬度が増した歯面の研磨である。同社は外歯歯車の歯面研磨に特化し、無条件にJIS0級の精度に研磨する技術がある。手がける歯車は主に自動車関連の試作開発部品で、一品もの、あるいは10個までの小ロットのものがほとんど。扱う大きさは外径10~1,000mm、平歯車とハスバ歯車の2種類のみに絞って研磨を行っている。月産能力は2,000個程度だが、同社と同等の精度で研磨できる会社は全国でも数えるほど。自社所有の測定機でほぼ全数チェックを行うことにより、高い精度と品質を保証している。



金属加工

独自の技術



自動車のギアなどの開発段階での試作品を予備なしの単品でも研磨する。厳しい品質管理技術を背景に、顧客の要望に応じ、MO0級（JIS0級の1/2の精度）までの研磨も可能である。

強み



多くの種類の研削盤と測定機を備え、歯車の研磨に特化することで、迅速かつ安価に研磨仕上げを行える。材質は、樹脂などの一部を除き、鋼材のみならずステンレスなど幅広く対応可能。

今後の展望



研削盤の数が技術者よりも多いという少数精鋭体制。技術の継承に注力し、顧客からの高い要望に応えるため、設備の整備にも力を入れて短納期で高精度な歯研加工を提供していく。

経営者の声



代表取締役
渋谷定男
さん

他にはない研磨技術を高め、導入した複数の測定機で精度検査を実施しています。検査結果をお付けした高精度な歯車を、自信を持ってご提供します。

株式会社 精密歯研工業所 (せいみつはけんこうぎょうしょ)

TEL 048-971-6320

E-MAIL seimituhaken@car.ocn.ne.jp

住 所 / 越谷市平方439-1

F A X / 048-970-7078

創 業 / 1961年9月

資本金 / 2,000万円

従業員 / 18名

主な事業内容

歯車研削

主な取引先(納入先)

IHI、ホンダ、日立、トヨタ等

37

株式会社 中山製作所

新旧の工作機械を自在に操り 多様な加工と短納期を実現



金属加工

複雑形状加工を得意とし 特注品を少量多品種生産

主に、空圧器部品と印刷機部品の金属切削加工を行っている。マシニングセンタ、NC旋盤などを豊富に揃え、φ20～φ500mmまでの丸材、500×1000mmまでの板材、鋼材、ステンレス鋼、アルミ合金と幅広いサイズや材質の部品を加工。1～100個/月程度の小ロットを中心に、500～800種類/月といった少量多品種生産が得意。複雑形状加工プログラムのノウハウが蓄積・伝承され、NC工作機を扱う社員全員が加工プログラム作成からオペレーションまで対応でき、複雑形状部品の多品種生産が可能。協力企業とのネットワークを駆使し、焼き入れ、メッキ、塗装などの後加工も可能だ。



独自の技術



自社で治具を開発、製造することで、さまざまな要望に応え、短納期対応を強みとしている。簡単なものであれば3、4日、平均でも2週間で納品している。

強み



NC工作機械の導入を進める一方、汎用旋盤やフライスも数多く揃え、品質、納期、価格などにより使い分けることで最適な加工を提供。試作品から量産品まで多様な生産に対応する。

今後の展望



5軸加工機を導入し、さらなる複雑形状加工に挑戦することで、今まで以上の形状精度向上や加工時間短縮を目指している。

働く人の声



塩沢雄太
さん

ものづくりに興味があり入社しました。鉄の塊が形になっていく楽しさを感じています。プログラムは頭も使い、若い人でもやりがいを感じるはずですよ。

株式会社 中山製作所 (なかやませいさくじょ)

TEL 048-988-7321

E-MAIL info@nakayama-saitama.co.jp

住所 / 越谷市大成町7-296-1

FAX / 048-989-5573

URL / <http://www.nakayama-saitama.co.jp/>

創業 / 1971年6月

資本金 / 1,000万円

従業員 / 43名

主な事業内容

金属部品・非金属部品製造

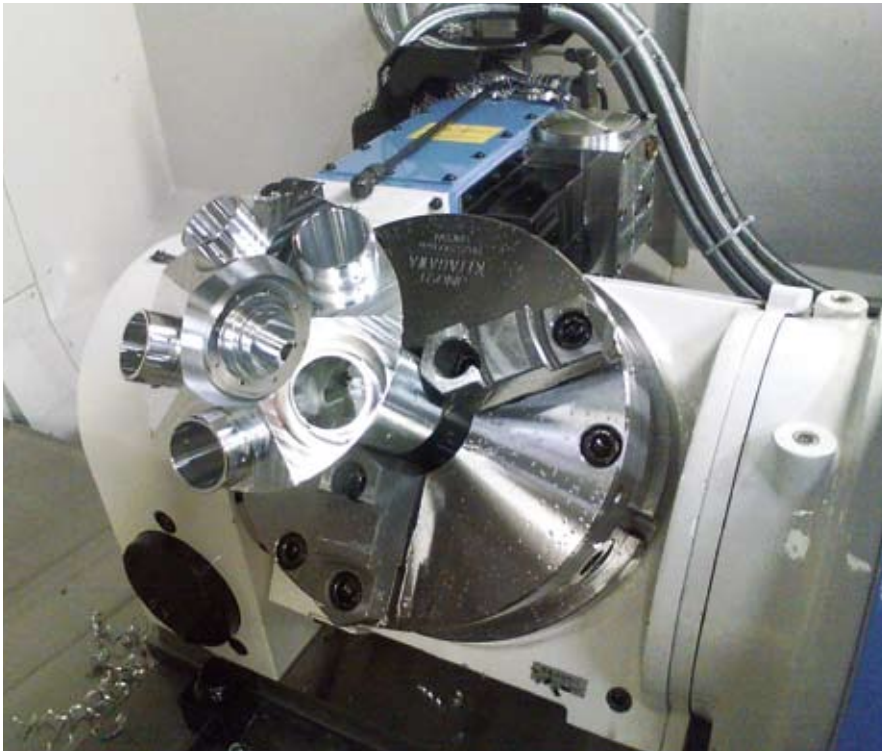
主な取引先(納入先)

空圧器機メーカー、印刷機械メーカー

試作加工の若き プロフェッショナル集団

38

有限会社 常陸機械 製作所



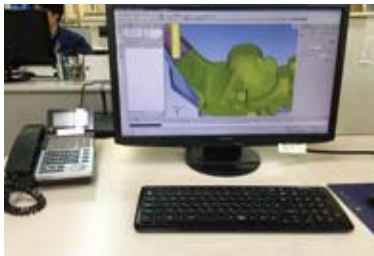
職人技と 最先端技術の融合

1951年に製本紙工作機械製造から始まった精密機械加工の老舗である。顧客の図面に忠実に難度の高いワンオフ（一品）製造を手がけている。材質はアルミ、鉄、ステンレスに加えて銅や真鍮、マグネシウムなど、ほとんどの金属が加工可能である。さらに、鉄やアルミの鋳造品の加工も行う。20台近い4～5軸の大型MC（マシニングセンタ）や三次元測定器、CAD/CAMを多数駆使して、自動車や包装機械関連の部品を主に、光学装置や液晶半導体装置用の部品、各種治具（アッセンブリも含む）など、数々の加工を手がけており、取引先は多方面にわたる。



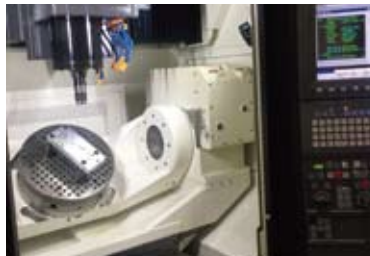
金属加工

独自の技術



CAD/CAMやシミュレーションソフト、高精度な三次元測定器を導入し、ITに強い若い技術者が5軸MCを駆使して削り出し加工している。

強み



技術者の約3割は20代と若く、顧客から事業の継続性を評価される。営業から設計まで一通り経験するため、試作、開発品等の相談も、その場で必要な判断や提案が行える。

今後の展望



今後も必要に応じて高性能な加工機や測定器、CAD/CAM、シミュレーションソフトウェアを導入したい。若くてやる気がある人材を補強し、職人芸に頼らない精密加工を展開する。

経営者の声



代表取締役
宇津野義弘
さん

平均年齢が高い業界で、若い世代が中心となってお客様とのつながりと技術のさらなる向上を目指しています。図面を見て話せる営業員がお伺いします。

有限会社 常陸機械製作所(ひたちきかいせいさくしょ)

TEL 048-964-7498

E-MAIL info@hitachikikai.co.jp

住 所 / 越谷市七左町8-189(本社・越谷七左工場)
越谷市増林4330-1(越谷増林工場)

F A X / 048-962-3217

U R L / http://www.hitachikikai.co.jp/

創 業 / 1951年4月

資本金 / 600万円

従業員 / 30名

主な事業内容

半導体、液晶、光学関連装置部品、自動車開発、試作部品、包装機部品等

主な取引先(納入先)

非公開

39

有限会社 村田スプリング 製作所

1級の線バネ技能士を先頭に 月産1,000万個のバネを製造



金属加工

取引先は400社。多くの 企業が求める技術力

線バネ製作業1級技能士でもある社長の村田奇一氏を筆頭に、確かな技術で圧縮バネ、引張バネ、ネジリバネなど、さまざまな線バネや線加工品を製造している。28台の製造機械で、月産1,000万個以上の製造能力を有する。試作品や1個からの製造も可能で、精密さが求められる人工衛星や深海探査艇の部品も手がけた実績を持つ。バネはネジのように規格品がほとんどないため、すべて完成品に合わせて設計する特注品である。複雑な形状や耐久性など、難しいバネになるほど同社の技術力が求められている。あらゆる産業が取引先で、その数は400社にも上る。



独自の技術



28台の製造機械を3人で稼働させている。1台のセットや調整を短時間で効率よく行っている。ノウハウと経験を活かした機械操作の技術が、短納期や多様な顧客ニーズの満足を実現。

強み



追加で受注が見込まれるバネはあらかじめ製造し、倉庫に在庫をストックすることで、緊急の受注にも迅速に対応している。このシステムが信頼を生み、長く取引を続ける顧客が多い。

今後の展望



常に最新の機械を導入しながら、バネの品質と生産性の向上を図っている。現在でも歩留まり率は95%以上と高いが、さらに完成度を高め、材料と製造時間の無駄を省いていく。

経営者の声



代表取締役
村田奇一
さん

バネ製造の技術はウナギのタレと一緒に、独自のノウハウがあります。同業者が減っていくなか、若い社員には技術をしっかりと継承させたいです。

有限会社 村田スプリング製作所 (むらたスプリングせいさくしょ)

TEL 048-977-4901

E-MAIL baneya@alpha.ocn.ne.jp

住所 / 越谷市恩間51-15

FAX / 048-974-4983

創業 / 1979年12月

資本金 / 500万円

従業員 / 3名

主な事業内容

バネ全般製造

主な取引先(納入先)

弱電、自動車、住宅設備、文具などの各メーカー

最薄0.04mmの加工が可能な 精密順送プレス加工メーカー

40 山元 株式会社



極薄の金属ドーム接点を 生み出す

最薄0.04mmの薄板加工が可能な精密順送プレス加工メーカーであり、自動車や産業機器、医療機器、電気電子機器の部品を製造している。なかでもスイッチを押した感覚を人に伝える金属ドーム接点（商品名：クリックドーム）は、山元の主力製品だ。箔材高速プレスでは、板厚0.05mmの箔材のバリを極限まで低減し、1分間に最大1500SPMの高速生産が可能。また、金型の設計から金型製造、試作プレス、量産プレスまでの一貫体制により、素材や厚み、形状、強度、感触など、ニーズに合わせた提案ができる。品質管理は全社ISO9001を取得している。



金属加工

独自の技術



傷、汚れのない高品質が求められる回路基盤用部品などを、プレス加工油を用いず生産している。オイルレスプレス加工は金型が傷付きやすいが、独自の技術で量産可能とした。

強み



国内と同等の設備を持つ海外生産拠点とのネットワークを駆使した供給体制により、相互補完が可能。工場は昼夜連続稼働ながらも、全品検査により不良率0.3%以下の安定供給を行う。

今後の展望



電子機器などの薄型化に伴う小型金属ドーム接点の開発のため、設備導入と金型開発を行う。技術者の力を引き出すために基礎教育に力を入れており、さらなる技術の高度化を目指す。

経営者の声



代表取締役
山元文夫
さん

「人」重視の経営を続け、人こそが技術と考えております。お客様のご要望には、経験とノウハウを持った山元の技術者が自信を持ってお応えします。

山元 株式会社(やまげん)

TEL 048-986-8181

E-MAIL RAITA_UENO@yamagen-kk.co.jp

住 所 / 越谷市川柳町4-266(本社・工場)

F A X / 048-986-8118

U R L / <http://www.yamagen-kk.co.jp/>

設 立 / 1973年

資本金 / 1,200万円

従業員 / 80名(グループ全体280名)

主な事業内容

プレス加工、金型設計

主な取引先(納入先)

ミツミ電機、パナソニック等

41

有限会社 山寺製作所

豊富な経験と技術力を結集し 設計から納品まで一貫して担う



金属加工

早くからロボットを導入し 高品質な金属製品を製造

トラックのルーフキャリア、スイッチボックスなど、自動車を中心とした部品製造を行う。切削、プレス、溶接といった金属加工から塗装仕上げにいたるまで、一連の工程は概ね社内に対応可能だ。少人数でも多種多様な注文に対応できる原動力は、半世紀以上培ってきた技術と経験値の高さ。また、会社設立当初から充実した設備を整え、効率よく作業ができる環境を築き上げてきた。なかでも1970年代初期に当時としては珍しい溶接ロボットを導入した成果は大きい。細かい職人技をロボットで再現できるように試行錯誤を続け、数人の工場でも安定して高品質の製品の製造が可能になった。



独自の技術



大手トラックメーカーのルーフキャリアは現在、1か月に約100個生産。試作から完成品まで機械作業と手作業を使い分け、安全基準が厳しい自動車業界に確かな製品を送り出している。

強み



金属加工の職人として60年以上のキャリアを持つ山寺社長が受注から設計、製造、納品まで行っているので対応が早い。寸分の狂いもない図面通りの良質な製品づくりが特長。

環境対策



排水問題に配慮し、環境保全のために、塗装作業は「オイルブース」を使用。オイルがオーバースプレーを捕集するため、作業環境はクリーンな状態を保持、仕上がりも美しい。

経営者の声



代表取締役
山寺庫次
さん

金属製品であれば、どんなものでもご相談に応じます。新規の案件は綿密に打ち合わせをし、試作を重ね、ご満足いただける製品を1個から作ります。

有限会社 山寺製作所 (やまでらせいさくじょ)

TEL 048-986-5711

FAX 048-986-5713

住所 / 越谷市南町3-11-1

創業 / 1957年10月

資本金 / 300万円

従業員 / 3名

主な事業内容

金属製造、加工業

主な取引先(納入先)

自動車メーカー、自動車部品メーカー

日本の土木事業を支える 強度に優れた大型ゴムを生み出す

42

木本ゴム工業 株式会社



エントランスパッキングは 国内トップシェア

工業用ゴムを中心とするゴムプレス製品、ゴム押出製品、ゴム板加工品、ゴム切削加工品などを設計、製造、販売している。特に、シールド・推進工事に使用される止水用のエントランスパッキングは国内でトップシェアを誇り、年間2万枚を販売している。耐摩耗性、引き裂き強度の高さが要求される分野で活用され、東京湾アクアラインの地下には、加硫接着の技術でジョイントした外径16m、厚さ30mm、重さ2tという大型のエントランスパッキングも導入されている。土木事業をメインに、建築、鉄道、電子機器、雑貨など、さまざまな分野で同社のゴムが求められている。

樹脂・
ゴム加工

独自の技術



エントランスパッキングのゴムは、独自の配合技術により他社が追随できない耐摩耗性、引き裂き強度を誇る。自社製品を証明するために付与する「木本ゴムマーク」が自信を示している。

強み



エントランスパッキングに代表される大型のゴム製品を製造できるのが強みだ。ゴム製品は当日の発注・納品のケースも多いが、金型を豊富に取り揃え、短納期を実現させている。

今後の展望



大型エントランスパッキングに対応する加硫接着の最新機器の導入を計画している。東京五輪に向けて、さまざまな条件のシールド・推進工事に対応していく考えだ。

働く人の声



製造課
寺山 大介
さん

以前は設計会社に勤めていましたが、ものづくりがたくて、この会社に転職しました。いろいろな現場を巡りながら、技術を習得したいです。

木本ゴム工業 株式会社 (きもとゴムこうぎょう)

TEL 03-3431-7614

E-MAIL kmt@kimoto-gomu.co.jp

住 所 / 東京都港区浜松町2-11-2 (本社)
越谷市増森1544-20 (越谷工場)

F A X / 03-3433-8170

U R L / <http://kimoto-gomu.co.jp/>

創 業 / 1930年

資本金 / 1,000万円

従業員 / 34名

主な事業内容

ゴム製品製造、販売

主な取引先(納入先)

土木工事、建築工事、工業、電子機器、雑貨等

43

コーケン工業株式会社

一貫体制で少量多品種の ゴム製品を製造

あらゆるゴム素材を 配合から成型まで

ゴム加工設備を多種備えており、量産向けの射出成型機（200t、4台）、小ロット向けのコンプレッション成型機（19台）を基本に、ゴムロール、二次加硫機、裁断機、押出機、ニーダー、クリッカー、両面テープ圧着機、金属抜きプレスなどを所有し、試作、小ロット、量産のすべてにきめ細かく対応。また、ゴムの原料配合から成型、加工、販売まで一貫生産が可能で、試作開発の段階から事業化・量産化を見据えた提案も行っている。自動車、建築資材、娯楽分野などの取引があり、天然ゴムから合成ゴム、シリコンゴムなど、成型、加工できる素材も幅広い。



樹脂加工
ゴム加工

独自の技術



少量多品種生産を基本としていて、多種の加工機を保有している。長期にわたり多種多様な顧客の需要に応じてきたため、どのような仕様でも迅速に対応できる技術者を抱えている。

強み



ゴム製品と名付けられたものは何でも加工、製造できる。ブチルゴムをベースとした粘着剤入りブチルテープや、耐熱仕様のコルテープNABを標準として製造している。

今後の展望



草加市および八潮市に分散していた工場を越谷市に集約した結果、コスト削減と環境対策がやりやすくなった。今後もクリーン工場として周辺環境保全に取り組む考えだ。

経営者の声



代表取締役
中嶋博之
さん

どんなご相談でも、「できません」は言いません。アイデアを出しながら、とことんお付き合いします。「お客様に貢献する」は、コーケン工業の精神です。

コーケン工業 株式会社(コーケンこうぎょう)

TEL 048-969-3500

E-MAIL info@ko-ken.biz

住 所 / 越谷市増森2-34-3

F A X / 048-969-3501

U R L / <http://www.ko-ken.biz/>

創 業 / 2010年4月

資本金 / 1,000万円

従業員 / 20名

主な事業内容

ゴム製品の製造加工

主な取引先(納入先)

アキレス、レンタルのニッケン等

中国に生産拠点を展開し 低コストで高品質なゴム製品を製造

44 株式会社 J&C



中国事情に精通し 安定生産体制を確立

自動車用ゴム部品や工業用ゴム製品、サッシ水密材など多種のゴム製品を製造している。1995年に中国福建省、2010年に上海に工場を設立し、約350名体制で稼働しており、国内に製品企画・営業拠点と一部生産拠点がある他は、多くの製品を中国工場で生産している。中国工場では、独自の人事管理によって現地社員との信頼関係を築いており、日本人の常駐派遣も必要ないため、低コストで高品質な製品の安定生産が可能。その品質の高さが認められ、日系自動車メーカーなどへも多くのゴム製品を供給している。また、中国事情に精通する強みを生かし、コンサルティング業務も行う。



樹脂加工
樹脂加工

独自の技術



福建工場は日本工場と同水準の環境投資を行っており、ISO9001を取得するなど、品質管理を徹底している。短期離職者が出ないので、低コスト、高品質な製品の安定生産が可能である。

強み



積極的に中国からの研修生を受け入れ、本社には中国籍の社員が多数在籍。これにより継続的に高度の技術を持つ従業員が供給でき、信頼関係に基づく人事管理で社員に一体感がある。

今後の展望



中国には福建省のほかに上海市にも営業拠点を置き、さらに多くの企業に高品質なゴム製品を安定供給することを目指している。また、コンサルティング業務にも注力していく。

経営者の声



代表取締役社長
山崎 清
さん

熱意を持って一步を踏み出せば、必ず先は開けます。海外への生産拠点の展開をお考えの際は、ぜひ一度お声をかけてください。

株式会社 J&C (ジェイアンドシー)

TEL 048-993-2631

E-MAIL k-yamazaki0218@jap-cha.co.jp

住所 / 北葛飾郡松伏町ゆめみ野東4-2-20(本社)
越谷市大成町8-2432(越谷工場)

FAX / 048-992-4600

URL / <http://www.jap-cha.co.jp/>

創業 / 1994年9月

資本金 / 1,000万円

従業員 / 25名

主な事業内容

自動車用ゴム部品および建築用水密材の製造販売

主な取引先(納入先)

サッシメーカー、ゴム金属メーカー等

45

株式会社
タイセイプラスチック成形の高い技術力で
アイデアをかたちにする顧客が求める製品づくりを
企画から一貫して対応

プラスチック製品の射出成形品を中心に製造している同社は、高い成形技術力と優れたコーディネート能力を活かし、顧客のニーズに合った製品を、企画から設計、試作、金型製作、成形、組み立て、梱包、運送まで一貫して対応している。化粧品販売用什器や販促用のディスプレイなど、アイデアが求められる製品の開発を得意とする。また、厳しいスペックをクリアし、トレーサビリティに基づいた生産管理のもと、大型旅客機向けの各種部品も長年提供し続けている。豊富なネットワークを有し、金属や紙などの各専門メーカーと協力した製品づくりも行っている。

樹脂・
ゴム加工

独自の技術



プラスチック製品は、射出成形のみならず、板加工、ブロー成形、主型、スラッシュ成形など、製法を問わず受注できる。金型の修理や改造メンテナンス事業も行っている。

強み



創業当時から大量の金型を保管することで、取引先との長い信頼関係を築いている。24時間体制で製造可能な工場を複数有するため、大口ロットでも短納期で対応できる。

今後の展望



加須工場の増設を進めている。クリーンルームを導入し、金型のメンテナンスと試作品がつくれる施設を充実させる。また、オリジナル製品を開発するための企画プロジェクトも開始した。

経営者の声

代表取締役
熊耳 勇
さん

私どもは「アイデアをかたち」をキャッチフレーズに、お客様が求められる通りの製品をグループ全体でつくり続けています。

株式会社 タイセイ

TEL 048-989-3679

E-MAIL info@taisei-i.com

住 所 / 越谷市蒲生茜町11-4

F A X / 048-990-0799

U R L / <http://www.taisei-i.com/>

創 業 / 1992年7月

資本金 / 2,000万円

従業員 / 27名

主な事業内容

プラスチック成形品、金型製品の製作・修理・改造メンテナンス

主な取引先(納入先)

化粧品、印刷、医療機器、航空機内装品などの各メーカー

樹脂の特性を知り尽くした プラスチックシートメーカー

46

東和合成工業 株式会社



環境や子どもへの安全に 配慮したシートを開発

ポリ塩化ビニル、ポリスチレン、ポリオレフィンなどを中心としたプラスチックシートを製造販売している。同社の塩化ビニルフィルムシートは、環境や子どもへの安全を重視し、ドイツBASF社が開発した非フタル酸系可塑剤「Hexamoll® DINCH®」を配合している。各メーカーに納品されたシートは、ランドセルカバー、手帳、医療用品、ランチョンマットなどに製品化されている。栃木工場では、独自に開発した特殊合成樹脂による三重構造の屋根下地材を製造し、自社ブランド「日本一」シリーズとして展開しており、同社の売上げの約2割を占める。

樹脂加工

独自の技術



プラスチックシートは、厚み、幅、硬さ、色などを顧客の要望に応じてフレキシブルに成形する。各樹脂の特性を知り尽くしているので、特殊なシートの製造にも対応できる。

強み



プラスチックシートはさまざまな形に製品化されるため、取引先も多い。東京と大阪に営業所を有し、小ロット、多品種、短納期の対応は、業界随一と高く評価されている。

今後の展望



プラスチックシートの裁断機を新たに導入した。裁断を必要とする顧客に対して、さらに短納期で対応するとともに、裁断で生じた端材のリサイクルにも自社で取り組んでいる。

経営者の声



代表取締役
岩城啓至
さん

素材の研究は日々行っています。樹脂だけではなく、お客様から持ち込んでいただく添加剤なども多いので、共同研究で製品化に取り組んでいます。

東和合成工業 株式会社(とうわごうせいこうぎょう)

TEL 048-985-3921

E-MAIL info@towagousei.co.jp

住 所 / 越谷市大間野町4-224(本社・工場)

F A X / 048-985-3925

U R L / <http://www.towagousei.co.jp/>

創 業 / 1968年4月

資本金 / 1億円

従業員 / 60名

主な事業内容

軟質塩化ビニル、ポリスチレンを中心とした各種プラスチックシート、屋根下地材などの製造販売

主な取引先(納入先)

文具、雑貨、玩具などの各メーカー、流通、建築、ホームセンター等

多層プラスチック製品の先駆けとして
世界に送り出した高い技術製造装置から製品まで
チューブ容器のプロフェッショナル

多層押出成形装置の設計・販売および、多層プラスチックチューブ容器の製造・販売を行う。創業時は装置の製造が主であったが、自社装置による5層チューブ製造技術を素材メーカーと共同開発し、チューブ容器製造事業を拡大してきた。主力の押し出しチューブ容器は、単純な形状ながらファッション性に優れ、化粧品や食品用など、さまざまな分野で使われている。最大の特徴は5層構造にあり、EVOHを使用したバリアー性により、内容物の酸化防止、香料保護などに効果がある。少量多品種の化粧品分野をメインターゲットに、高品質な製品と高効率な製造装置の提供を行っている。



樹脂加工

独自の技術



製造ラインはすべて自社技術で設計した機械を使用している。内容物を酸素や日光から保護する層を多層成形で挟み込める。押し出し成形では難しい金属光沢も、金属箔を挟まずに実現できる。

強み



製造機械を自社開発しているため、独自の製造ラインが構築できる。これにより作業効率と利便性が向上するとともに、顧客の要望に応じて、日常的に独自の改良を加えることができる。

今後の展望



現在の高品質、短納期、小ロット生産の延長線上で、金属箔を使わないメタリックカラーの製品など、化粧品分野でのチューブの高級化に対応した製品を、海外も含めて販路開拓していきたい。

働く人の声



メンテナンス係
前田浩臣
さん

こういう工夫をしてみようという自分の考えを、良い意味で遊ばせてくれる会社です。遊びから生まれた新しい技術を体感できるのが楽しいです。

株式会社 マックインターナショナルアソシエイツ

TEL 048-962-7272

E-MAIL info@macintl.com

住 所 / 越谷市増林3500
F A X / 048-965-7962
U R L / <http://macintl.com/>
創 業 / 1982年2月
資本金 / 2,000万円
従業員 / 45名

主な事業内容

多層チューブの製造および同製造
機器の開発・製造

主な取引先(納入先)

化粧品関係企業全般

プラスチックの成形から 二次加工まで一貫受注が可能

48

光宝化学 株式会社



短納期に応え続ける 優れたノウハウと技術力

都内に本社を置き、越谷市内の2つの工場で各種プラスチックの押出成形・射出成形から二次加工まで行っている。中小規模で一貫対応ができる企業は珍しく、顧客からすればコスト削減や納期短縮にもつながる。短納期生産は同社の売りの一つで、他社に委託していた顧客が新規でオーダーしてくる案件も少なくない。同材質で強度の異なる軟質、硬質素材の2色押出成形も得意。自社工場で手がける製品は自動車部品、建材、弱電用部品、ディスプレイ製品など多岐にわたり、大手も含めたさまざまな企業、業界との多様な取引網が貴重なノウハウを生み出す糧になっている。



樹脂加工

独自の技術



長年のノウハウと技術により、顧客のニーズに合った金型設計が可能。加工が難しいとされる押出成形において、製品仕様を満たすように誤差精度1/100mmまで機械で調整していく。

強み



顧客の注文に合わせてつくった金型で試作を行い、調整した後、速やかに生産に入る。短納期や量産品にも対応しているため、工場は24時間体制で稼働している。

今後の展望



航空機内で使われる部材を手がけていたり、水素ガスステーション関連の引き合いもあるため、新しい製品の企画や原料加工に対しても積極的に取り組んでいく。

働く人の声



工場長
鈴木信司
さん

試作中は金型をどう変えたらうまく成形できるか、寝るまで考えていることが多く常に勉強ですが、お客様からOKが出たときの達成感は最高です。

光宝化学 株式会社(みつほかかく)

TEL 03-3858-4161

E-MAIL takarak1@soleil.ocn.ne.jp

住 所 / 東京都足立区六町3-5-35(本社)

越谷市大間野町4-220(越谷第一工場)ほか

F A X / 03-3885-1039

U R L / <http://takarakagaku.holy.jp/>

創 業 / 1959年9月

資本金 / 1,000万円

従業員 / 43名

主な事業内容

合成樹脂の押出成形加工、射出成形加工、樹脂二次加工、プラスチックを含めゴム加工

主な取引先(納入先)

建築資材、事務機器、自動車部品、インテリア、文房具などのメーカーおよび商社

厳格な衛生管理基準のもと カード文化の発展を支える

ランダム丁合技術と 厳重な機密保持

トレーディングカードなどのカードゲームを中心とした特殊印刷の企画デザインから印刷、梱包、発送までを手がけている。疑似エッチング・エンボス・LCコースト/ホログラフ超光沢やフィルム印刷、さらにはホログラム印刷などの特殊印刷も行うほか、製品のランダム丁合技術をシステム化していることも特徴。また、工場内にクリーンルームを持ち、厳しい衛生管理基準が適用される食品玩具印刷業として、他社との差別化を図っている。このほか従来型のトランプやかかるた、カタログやチラシなどの商業印刷も小ロットから大ロットまで一括生産に対応しており、短納期を可能にしている。



紙加工
印刷

独自の技術



レア物のカードなどを、完全にランダム丁合するシステムを確立させている。カードの印刷加工では、偽造品をつくることのできない、高度な特殊印刷技術がある。

強み



発売前商品などの機密保持のため、検品や梱包などのアッセンブリ業務では作業員の入退出管理を厳重に管理。廃棄物の処分まで自社で担うことで、顧客の厚い信頼を受けている。

品質管理



ISOの品質管理基準を順守し、資材の受け入れや保管管理を厳重にするとともに、職場、設備環境における異物や、作業起因による異物の混入も徹底的に防いでいく。

働く人の声



パート社員
の皆さん

責任ある仕事を任せられ、さらに頑張ろうと思います。自分たちが生産した商品を、手にとった子どもの笑顔を見るのがとても嬉しく、やりがいになります。

株式会社 エス・ワイ・エス

TEL 03-5827-2347

E-MAIL info@sys-inc.jp

住 所 / 東京都台東区駒形1-3-14 駒形TCビル2F(本社)
越谷市西方2614-2(越谷工場)ほか

F A X / 03-5828-2353

U R L / <http://www.sys-inc.jp/>

創 業 / 2002年7月

資本金 / 1,000万円

従業員 / 171名

主な事業内容

カード印刷、製造

主な取引先(納入先)

非公開

全国ネットワークで安全・安心 多種多様な看板制作

50 株式会社 エフ広芸



独自のネットワークで 制作・保守まで全国対応

店舗看板、たれ・横断幕、誘導看板、ネオン・LED看板、ソーラー看板、銘板、館内案内、スタンド看板、屋上広告塔など、表示物の全分野をカバーしている。全国の同業者ネットワークで業務提携するほか、最新技術の導入や技術者の資格取得にも常に取り組み、看板に関するあらゆる注文に応えることを目指している。また、制作・設置以外にも、企画、交渉・管理、設計、デザインも引き受けており、看板制作に関する一貫体制を実現している。社内における徹底した計画経営や積極的な人材育成が、安定した高品質だけでなく、顧客ニーズに応じた的確な提案や短納期での納品を可能にしている。

印刷加工

独自の技術



屋外広告士をはじめ、電気工事士や溶接などの各種資格を有する熟練の職人が一つひとつを手づくりで制作している。顧客のあらゆる注文に応える多彩な看板制作が自社で可能。

強み



鉄骨・板金加工を内製化しており、高所作業車も保有。高い機動力と短納期が可能である。また、看板の設置場所などのコンサルタント技術も持ち、設置手続きの代行業務も手がける。

今後の展望



デザイン、制作からコンサルタントまで多様な業務をこなせる人材を育成したい。看板制作ネットワークの拡充とともに、非常時の夜間照明や案内になるソーラー看板なども発展させたい。

働く人の声



営業事業部
澤村正徳
さん

社会人になってこそこの会社と考え、個人の目標を大切に、人材の育成に力を入れるとともに、きめ細かな経営計画を基に仲間と働いています。

株式会社 エフ広芸(エフこうげい)

TEL 048-978-1000

E-MAIL fsign@fcraft.com

住 所 / 越谷市平方485(本社・工場)

F A X / 048-978-0003

U R L / <http://www.fcraft.com/>

創 業 / 1976年8月

資本金 / 1,000万円

従業員 / 33名

主な事業内容

屋外広告の制作・施工・設置・保守・点検・管理

主な取引先(納入先)

POLUSグループ、地方自治体、商工関係団体等

多種多彩な印刷技法で 金属や樹脂を自在に加工

「ガーヤちゃん」グッズを 通じて市場を開拓

金属と樹脂を中心とした印刷、加工を行っている。スクリーン印刷、アルマイト印刷、オフセット印刷、UVインクジェット印刷などを駆使しながら、一方で各種銘板、光学製品の機能部品などの加工も手がけている。工業部品を主力に、近年は一般ユーザー向けの製品にも取り組んでいる。2015年より越谷特別市民「ガーヤちゃん」のイラストを使用したグッズの製造販売を開始した。ピンバッジ、樹脂盛りシール、iPhone ケースなど、さまざまな素材のグッズを取り扱いながら、印刷と加工の高い技術力をアピールし、新たな顧客や市場を開拓している。



紙加工
印刷

独自の技術



スクリーン印刷をはじめ、多種多様な印刷技法を有し、金属にも印刷できる技術を持ち合わせている。また、加工できる素材の種類も金属類から樹脂類まで幅広い。

強み



最新の加工機器を導入する一方で、昔ながらの切削加工機なども保有し、現在も稼働させている。対応できる工場がほとんどなくなってしまった分、同社に受注が集中する製品も多い。

今後の展望



越谷特別市民「ガーヤちゃん」の取り扱いアイテム数をさらに増やしていく。また、パット印刷機器を新たに導入しながら、営業品目をさらに広げていく考えだ。

経営者の声



代表取締役
宇田川 博
さん

「水と空気以外は印刷できる」をモットーに、あらゆる注文にお応えしています。エコアクション21認証を取得し、環境問題にも取り組んでいます。

有限会社 川島銘板 (かわしまめいばん)

TEL 048-964-1191

E-MAIL udagawa@kawashima-np.co.jp

住 所 / 越谷市柳町1-23(本社・工場)
越谷市越ヶ谷5-4284(第二工場)

F A X / 048-964-1101

U R L / <http://www.kawashima-np.co.jp/>

創 業 / 1958年2月

資本金 / 300万円

従業員 / 10名

主な事業内容

各種ネームプレート、工業部品、パネル等の製造・販売

主な取引先(納入先)

工業、精密機器、電子機器などの各メーカー

スクリーン印刷とインクジェット出力を融合した印刷技術

52

株式会社 協和プロセス



製版、印刷、加工の一貫体制で、短納期を実現

企画からデザイン、シルクスクリーン印刷、インクジェット出力、加工、梱包発送、現地施工まで対応している。2007年に川口市から移転し、印刷工場と加工工場を統合して一貫した生産管理体制を確立した。多様なニーズに応えるため、豊富な設備を備え、型抜き、CAD加工、箔押し、レーザー加工なども行える。1枚物の製品からディスプレイやショールームのトータルプロデュースも手がけている。コンサート用のペンライト、キーホルダー、マウスパッド、車内用すべり止めマットなど多種多様な印刷製品の実績がある。



印刷加工

独自の技術



大型UVインクジェットプリンターを導入するなど、常に最新の機械を導入。培ってきたスクリーン印刷やインクジェットの技術を融合・駆使しながら、常に新しい表現を探究している。

強み



製版、印刷に加えて、加工まで行える企業は少なく、一貫体制で短納期を実現させている。一括受注できる体制で顧客を広げ、その数は毎月200社、延べ400社以上にも及ぶ。

今後の展望



見本帳を刷新し、営業の強化を図っていく。多彩な印刷技術をアピールするため、サンプル数を大幅に増やし、50ページに及ぶ量になる予定だ。営業の人材確保にも取り組んでいく。

経営者の声



代表取締役
小林保夫
さん

同業他社が多い中で、豊富な設備と加工技術で差別化を図っています。機械のみに頼らず、調色などオペレーターの技術向上に努めています。

株式会社 協和プロセス(きょうわプロセス)

TEL 048-961-6811

E-MAIL info@kyowaprocess.co.jp

住 所 / 越谷市大間野町1-65-1

F A X / 048-961-6813

U R L / <http://www.kyowaprocess.co.jp/>

創 業 / 1982年9月

資本金 / 2,000万円

従業員 / 25名

主な事業内容

製版・刷版、スクリーン印刷全般、UVインクジェット出力、加工全般

主な取引先(納入先)

広告代理店、各種メーカー等

53

大日本 パッケージ 株式会社

「特別な色」の実現にこだわり続ける グラビア印刷の製造会社

顧客が求める色を自在に 生み出す職人の技術

創業以来、食品、医療、化粧品など、私たちが日常目にする商品パッケージの印刷を多数手がけている。主力のグラビア印刷の特徴は、再現性の高い色彩の美しさであり、その色を生み出すには、今も職人の調色技術が必要だ。競争が厳しい印刷業界で50年以上にわたり大手企業の包装の印刷を手がけ続ける一番の理由がこの技術力だ。視覚的な美しさに機能性をプラスした印刷を行っており、多層のフィルムを接着できる塗料による印刷や、滅菌処理済みかを一目で判別できる印刷、レトルトパック用に加熱しても色落ちしない印刷なども行っている。



紙加工
印刷工

独自の技術



職人による版とインキの組み合わせ技術により、顧客が求める「特別な色」をグラビア印刷で実現する。安定したインキ転移を可能にする静電印刷装置も導入している。

環境対策



環境問題には特に注力している。印刷工場で使用するVOC特有の臭いと排出を抑えるため、燃焼式脱臭装置などを積極的に導入しながら地域との共存、共栄に取り組んでいる。

今後の展望



グループ会社とともに、印刷技術とラミネート加工技術を駆使した自由な発想で環境にやさしい自社ブランド製品の開発を進めている。

働く人の声



生産本部
大畑祐輔
さん

やりたかったことは前向きに取り組ませてくれるのがこの会社の魅力です。色づくりの基礎を学び、今は機長への昇進を目標に日々努めています。

大日本パッケージ 株式会社 (だいにほんパッケージ)

TEL 048-973-0301

E-MAIL info@daipake.co.jp

住 所 / 越谷市平方1004-11(本社・工場)

F A X / 048-973-0300

U R L / <http://www.daipake.co.jp/>

創 業 / 1964年2月

資本金 / 9,400万円

従業員 / 130名

主な事業内容

プラスチックフィルム、紙への印刷および企画、製造、販売

主な取引先(納入先)

食品、医薬、医療、雑貨、建築材、工業用材料等の各メーカー

段ボールづくりにこだわり 特性を知りつくした専門会社

54

松崎紙工 株式会社



自社一貫体制で迅速かつ 低コストで製品を提供

見積もり、サンプル製作、受注納品のすべてに迅速に対応するため、自社一貫体制を確立し、低コストでの納品が可能である。最新機器を導入し、段ボールは10～75cm角のサイズまで製作でき、それ以外のサイズも特注として対応可能。また、顧客の要望に応じた形状の特注製品にも対応する。パンチやステッチャーなど、昔ながらの機械を扱える職人もいるので、B式などの箱も対応できる。商品を包み保護する段ボール本来の役割だけにとどまらず、包装する商品の魅力をアピールするための機能やデザインの提案も行っている。



印刷加工

独自の技術



最新の裁断・印刷機を導入し、10cm角の段ボールケースを、抜型などのコストを削減しながら製造できる。印刷技術も高く、表面のバーコードや白抜き文字の印刷まで丁寧に行う。

強み



企画、試作から生産、納品までを自社でトータルプランニングしている。顧客の情報、受注をコンピューターで管理し、製造から配送までを瞬時にチェックできるシステムを確立した。

今後の展望



品質の安定化を図るため、ティーチング機能付マシンの導入を計画している。段ボール製の什器を製作、提案するなど、新たな製品の開発にも常に取り組んでいる。

経営者の声



代表取締役
松崎義一
さん

段ボールは災害時にはパーティションや布団にも代用できる万能品です。段ボールの可能性を広げながら、より多くの人に魅力を伝えたいです。

松崎紙工 株式会社(まつざきしこう)

TEL 048-975-2222

E-MAIL infomail@mzaki.co.jp

住 所 / 越谷市下間久里1325

F A X / 048-975-7722

U R L / <http://www.mzaki.co.jp/>

創 業 / 1960年5月

資本金 / 1,000万円

従業員 / 27名

主な事業内容

段ボールケースの製造・販売、各種包装資材一式の販売

主な取引先(納入先)

梱包用品商社、各種製造業等

55

山浦紙器印刷株式会社

打ち抜き加工と貼り加工の 高い技術力で新たな分野にも挑戦

万全な秘密保持体制で、 POPやノベルティを製作

パッケージや特殊箱、POP、ノベルティなどを中心に製作し、紙の打ち抜き加工や貼り加工に高い技術を持つ。高い企画力により、ラフ案をもとに量産に適した形状を設計し、顧客が求めるイメージをCADで具現化しながら提案することが可能。1970年代に流行したジグソーパズルの製造で培った厚紙の加工技術とノウハウを時代の変化に対応させることで、近年は各種パッケージや販促ツール用POP、ノベルティ、キャラクター商品などを数多く取り扱っている。全国的なキャンペーンに関わるものも多いため、万全な秘密保持体制で臨みながら製作を進めている。



紙加工
印刷

独自の技術



特殊な打ち抜き加工機や18m級の貼り加工機を所有し、加工に適した独自の改良を行う。各設備と熟練の技術を組み合わせ、他社では難しい厚物や複雑形状の加工にも対応できる。

強み



20社以上の協力会社と連携して、高度な印刷やアクリル素材などの加工にも対応することで、設計から印刷、加工、納品までのトータルコーディネートを行える。

今後の展望



POPやノベルティは、紙製品以外の要望も多いことから、さまざまな素材に対応できる体制を協力会社とともに強化していく。新展開に合わせた最新機種種の導入も計画している。

経営者の声



代表取締役
山浦晴久
さん

お客様より、当社はまさに Made in Japan の技術だと評価していただいております。培った技術を守りながら、新たな分野にもチャレンジしています。

山浦紙器印刷 株式会社 (やまうらしきいんさつ)

TEL 03-3888-4151

E-MAIL enomoto@yamaura-shiki.co.jp

住 所 / 東京都足立区柳原1-31-7(本社)
越谷市増森1544-9(工場)

F A X / 03-3888-4476

創 業 / 1949年4月

資本金 / 1,000万円

従業員 / 27名

主な事業内容

POP全般、パッケージ、特殊箱、ノベルティなどの設計、印刷、加工、製造

主な取引先(納入先)

非公開

厳しい品質基準にも対応できる 金属塗装のプロフェッショナル

56

小川金属塗装 有限会社



新工場を増設し、小型部材 から大型部材にも対応

工業用金属の塗装を中心に、樹脂塗装やシルクスクリーン印刷などを手掛けている。電子機器筐体、情報端末機、理化学機器、事務機など、正確で高度な仕上げが求められる機器の塗装を得意とし、厳しい審査が必要とされる機密性の高い機器の塗装も受注している。すべての工程を自社工場で行い、短納期で対応。2014年には一般大型部材の塗装工場を増設した。最新の塗装ラインや前処理設備、塗装ブース、乾燥炉を導入したことで、5m規模の長尺製品の金属塗装にも対応でき、大型部材から小型部材まで、一括で受注できるようになった。



加工
表面
処理

独自の技術



弱電設備に合わせて、図面通りにマスクングをしながら正確な塗装ができる。パテ付けなどの下処理技術も高く、指定通りの調色をしながら、顧客の要望通りの塗装を行っている。

強み



メラミン樹脂焼付塗装、アクリル樹脂焼付塗装、粉体塗装などの焼付塗装に加え、シルクスクリーン印刷やウレタン塗装も行っている。小型部材から大型部材まで受注できる設備を備える。

今後の展望



一般大型部材の工場増設に伴い、営業の強化を図っている。従来通り、小ロット多品種にも対応しながら、大ロットに対応した塗装ラインをフル稼働させていく考えだ。

働く人の声



専務取締役
小川琢也
さん

当社は厳しい審査を必要とする塗装の受注が多いので、少人数ではありますが、皆技術力は高いです。塗装方法もさまざま用意しています。

小川金属塗装 有限会社(おがわきんぞくとそう)

TEL 048-965-5528

E-MAIL ogawa-kt@titan.ocn.ne.jp

住 所 / 越谷市増森1544-21(本社)

F A X / 048-965-5590

U R L / <http://ogawakt-titan.co.jp/>

創 業 / 1978年7月

資本金 / 300万円

従業員 / 11名

主な事業内容

金属塗装、樹脂塗装、シルクスクリーン印刷、それに付帯する一切の業務

主な取引先(納入先)

板金加工、プレス加工、金型加工メーカー等

豊富なノウハウを活かし 難素材も高周波焼き入れ

多彩なコイル作成により ワンオフ品の焼き入れも

高周波焼き入れは、ワークの形状や焼き入れしたい部位に応じたコイルの作成方法にノウハウがある。焼き入れ対応素材は、炭素鋼ではS35CからS50C、合金ではSCM435などで、ワークの形状や大きさに合わせた多彩なコイルを工場内で自作する。6台の加工機を駆使して短納期での納品に取り組み、すでにコイルがあるリピート品は、中2日からの納品が可能。また、7台の検査機を使用し、規定にしたがって取ったサンプルの硬化層の厚さと強度を細かく検査し、ニーズに応じて電子顕微鏡での二重チェックにも対応。小規模工場ゆえの細かなロットと多様な素材対応が特長だ。



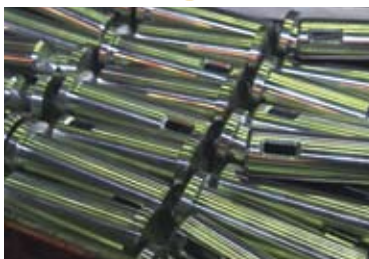
加工
表面
処理

独自の技術



高周波焼き入れに特化した熟練技が特長である。熟練した技術と豊富な経験や知識によって、本来は高周波焼き入れには向かないSUS420などの低炭素素材にも焼き入れを行うことができる。

強み



小規模工場ならではの小ロット生産に注力しており、単品から50~500前後のロット数まで、スピーディーにこまやかな加工が可能。単品の短納期加工などでも、価格面での強さを見せる。

今後の展望



ISO9001を取得しており品質管理水準は高い。これに加えて、迅速加工と品質安定、廉価加工を両立させ、顧客の満足度向上を目指している。

経営者の声



代表取締役
金尾雅美
さん

長年培った経験と技術を、着実に若い世代に継承しています。堅実な技術力を御社の新しい製品開発に活かします。

有限会社 江東高周波工業 (こうとうこうしゅうはこうぎょう)

TEL 048-924-9251 (工場)

E-MAIL koutou-k@samba.ocn.ne.jp

住所 / 越谷市越ヶ谷1688 (本社)
八潮市西袋778-5 (工場)

FAX / 048-924-9149

創業 / 1976年11月

資本金 / 800万円

従業員 / 7名

主な事業内容

自動車部品、鉄道車両ピン、精密機械部品等の高周波焼き入れ

主な取引先 (納入先)

TAIYO、サンノハン、青戸製作所、富澤鉄工所、平和螺子工業等

アルミニウム加工からアルマイト処理まで一貫製造の技術力

58

有限会社 セキネ アルマイト



一括受注のシステムで 短納期、低コスト化を実現

アルマイト加工業として創業。当初はカメラ部品を中心に製造していたが、1983年に加工工場を増設し、前工程となるアルミニウムの切断、プレス、タップ、切削加工まで事業領域を広げた。工程ごとに専門の会社があるなかで、アルマイト処理を含め、アルミニウム製品の一貫した製造ができる数少ない会社の一つだ。アルミニウムの加工から製品化までを一括受注することで、短納期、低コスト化を実現させている。主力はヒートシンクや機械部品で、精密機械部品の製造を得意とする。試作品の製造や、多品種、少量から量産まで、さまざまな受注に対応している。

独自の技術



高精度、高品質化を図るため、マシンングセンタなどの設備を増強した。各工程に熟練工を配し、ヒートシンクや機械部品の製造は、高く評価されている。

強み



2006年にISO9001を2工場と同時に取得した。アルミニウム製品の一貫製造のため、工作機器を20台有する。最新の3次元測定器を導入し、検査体制も強化している。

今後の展望



埼玉大学理工学研究科流体力学平原研究室との共同研究により、工作機械向けの新たな大型ヒートシンクの製造方法を開発した。特許を取得し、自社製品として展開していく考えだ。



加工
表面
処理

働く人の声



製造グループ
栗原卓彦
さん

砂原工場で加工作業をしています。さまざまな作業工程があるので覚えるのは大変ですが、アルミニウム全般の加工が学べて、やりがいを感じます。

有限会社 セキネアルマイト

TEL 048-975-0848

E-MAIL taizo.sekine@s-almite.co.jp

住 所 / 越谷市袋山1064-2(本社・アルマイト工場)
越谷市砂原270-6(砂原加工工場)

F A X / 048-974-7953

U R L / <http://s-almite.co.jp/>

創 業 / 1968年11月

資本金 / 500万円

従業員 / 55名

主な事業内容

アルマイト加工、放熱器、精密部品
製造

主な取引先(納入先)

精密機器メーカー等

「ファクトリーコンビニエンス」のウリは
一貫体制によるパーツ加工の利便性越谷では土曜・祝日も稼働
表面処理だけなら宅配も

企画設計の段階から切削などの機械加工、表面処理、パーツアッセンブリまで一貫生産できる。三郷市の本社工場のほか、白河工場や中国、フィリピンの海外工場も含めると約600台の加工機を保有し、各種金属や樹脂の加工ができる。ロットも少数から数千個までに対応している。越谷市にある表面処理事業部では、最長1mまで対応可能。処理方法はカゴ、ラック、バレルと製品に最適な方法を選べる。また、宅配便を使ったサービスも展開している。鉄・アルミの無電解ニッケルメッキと鉄の黒染めを、午前到着なら当日に処理し、当日夜の宅配便で返送することも可能だ。

加工
表面
処理

独自の技術



表面処理工場を社内を持つとともに、熟練技術者を社内に擁し育成することで、完成までの時間短縮を実現。ISO 9001やISO14001も取得し、高品質な製品を安価に供給。

強み



標準品は本社工場での加工から表面処理まで3日で完成させる商品もあり、多品種少量短納期生産に強い。もともとネジ商社から始まったので、市販ネジも取り扱っている。

今後の展望



さらなる国内販路開拓と顧客満足度向上を目指し、鹿児島工場が稼働予定。海外は香港に100%出資の子会社、広東省とフィリピンに工場を展開し、現地日系企業の需要に対応。

経営者の声

代表取締役
大田憲治
さん(右)

環境保全、改善活動に全社を挙げて取り組んでいることが評価され、「彩の国工場」に指定されたことは誇りです。

株式会社 パーツ精工 (パーツせいこう)

TEL 048-962-3517 (表面処理事業部)

E-MAIL pm@parts-seiko.com (表面処理事業部)

住 所 / 三郷市新和1-83-2 (本社)
越谷市増森1544-14 (表面処理事業部)
F A X / 048-962-3518 (表面処理事業部)
U R L / <http://www.parts-seiko.com/>
創 業 / 1985年8月
資本金 / 8,730万円
従業員 / 206名 (グループ計600名)

主な事業内容

無電解ニッケルメッキ・黒染めおよび
各種加工

主な取引先 (納入先)

機械部品関係

高いめっき技術で主要産業を支える 表面処理業界のパイオニア

60

吉野電化工業 株式会社



最先端の研究部門を有し 新たなめっき技術を開発

先進的なめっき技術と生産ラインを備え、さまざまな素材に多彩なめっき加工を行う。硬質クロムめっきや無電解めっき、電磁波シールドめっきなど、自動車や電子機器などに欠かせない高い表面処理技術を持ち、日本を代表するメーカー各社から高く評価されている。熱処理技術を持つ株式会社ヨシノハードと「YDKグループ」を構成し、表面処理（熱処理）の専門メーカーとして多様化する顧客ニーズに対応している。2社それぞれ独自の技術開発部門、品質管理部門を設けることで、常に高品質で対応できる体制が整っているのも特徴。ベトナムとインドネシアにも生産拠点を有している。

独自の技術



小型部品の一部だけに硬質クロムめっきする精密クロムめっき技術や高比重プラスチック、焼結金属などの難めっき素材へのめっき技術など、高い表面処理技術を有する。

強み



最先端の実験環境と分析機器を備えた研究開発部を有し、あらゆる試作依頼に対応。ゲルめっきやガラス上へのめっき、黒色めっきなど、未来の表面処理技術の独自開発も進めている。

今後の展望



航空機産業への参入を目指したJISQ 9100の認証取得や電磁波シールドめっきの医療分野への展開など、より高精度な表面処理技術が求められる新分野への進出に取り組んでいる。



加工
表面
処理

働く人の声



研究開発部
横山未歩
さん

めっき液をゲル化させる新しい技術の研究をしています。自分自身でテーマを持って実験に取り組めるのが、この会社の大きな魅力です。

吉野電化工業 株式会社(よしのでんかこうぎょう)

TEL 048-951-1111(事務所・吉川工場)

E-MAIL soumu@yoshinodenka.com

住 所 / 越谷市越ヶ谷5-1-19(本社)
吉川市旭1-2(事務所・吉川工場)ほか

F A X / 048-993-3335

U R L / <http://www.yoshinodenka.com/>

創 業 / 1935年1月

資本金 / 9,999万円

従業員 / 280名

主な事業内容

めっき加工を中心とした表面処理

主な取引先(納入先)

大手自動車、電気機器、通信機器メーカー等

61

株式会社 榎の木製作所

独自設備で極細電線の材料を製造 一貫体制でスピード納品

「より薄く、より細く」に応える 薄物加工の技術力

デジタルデバイスなどに使われる電線材料のサプライヤーとフィルム加工の2つの部門がある。フィルム・金属箔の一貫加工が特徴で、貼り合わせ（ラミネート・コーティング）からマイクロスリット加工やプレス加工の一貫生産が可能。電線の材料サプライヤーとして、国内外の電線メーカーと取引があり、顧客ニーズに合わせた提案や製品開発をワンストップで行うことで、少量多品種生産にも対応している。特に薄物加工を得意とし、極細電線向けに細幅・薄物のシールドテープや絶縁テープを小ロットから供給可能。また、加工技術と設備を活かし、電線以外のフィルム加工も手がける。



独自の技術



独自開発の生産設備と高いラミネート・スリット加工技術により、最薄でアルミ箔7μ、銅箔6μ、PETフィルム2.5μの加工ができる。電線の材料は48AWG以下の細径にも対応可能。

強み



フィルム材料の「塗る、貼る、切る、抜く」から販売まで、自社内一貫生産体制で行っている。基本的に加工を外注しないため短納期が実現でき、商社を通さないため価格の優位性も持つ。

今後の展望



2015年末に新工場が同じ越谷市に完成し、同時にオリジナル設備を導入。生産能力も2~3割向上し、より薄く細いものがつくれるようになった。

加工
その他

働く人の声



製造一課
大崎亮介
さん

スリット加工を担当しています。より薄く細くを追求し、今では2.5μmフィルムを0.6mmの幅までスリットすることが可能になりました。

株式会社 榎の木製作所 (かしのきせいさくしょ)

TEL 048-990-6540

E-MAIL k.okuma@oak-tree.co.jp

住 所 / 越谷市川柳町1-1-3(本社・工場)
越谷市レイクタウン1-1-7(工場)

F A X / 048-990-6550

U R L / <http://www.oak-tree.co.jp/>

創 業 / 1995年8月

資本金 / 1,000万円

従業員 / 50名

主な事業内容

電線材料の加工、フィルム加工

主な取引先(納入先)

電線メーカー、商社

きめ細かなニーズに応じて 安全で安心なポリエチレン製品を製造

62

有限会社 キクチ三化学



工場は24時間生産体制で 急ぎの注文にも即対応

各種袋、シート、ラミネート加工などポリエチレン製品の受託製造、販売が主力事業。一番の売りは「きめ細かでスピーディーな顧客対応」だ。お客様が求めるサイズ、形状に合わせた製品づくりはもちろん、フィルムの厚みや強度など、微細な要望にも快く応じている。良質な製品を安定供給できるように、安全性の高い原料を厳選し、自社工場は24時間稼働。急ぎの仕事は協力工場と連携してスピーディーに対応している。品物によっては、朝受注してその日の夕方に納品することも可能。コンビニ惣菜や弁当の需要増加に対応するため食品シートの開発に力を入れている。

独自の技術



ポリエチレン製品の質感や強度の向上に必要なとされる原料の配合など、多くのノウハウを持っている。現行品の改良を進め、新たなミシン目加工の開発も進行中である。

強み



青森県と埼玉県の2ヵ所に工場を持ち、東北と関東圏には協力工場も多数。大口の注文や災害などで製造ラインがストップした場合も安定的に商品提供ができるシステムを完備。

今後の展望



食品産業の発展とともに顧客のニーズに合ったポリエチレン製品を提供していく。なかでも食品シートの製造、販売に重点を置き、オリジナル製品の開発も行っていきたい。

加工
その他

働く人の声



営業部 次長
清水達也
さん

直接社長に相談できる環境にあるのはありがたいですね。それだけ迅速なジャッジとスピーディーな対応が可能で、お客様との商談も早く進みます。

有限会社 キクチ三化学(キクチさんかぐ)

TEL 048-975-6611

E-MAIL kikuchi3@ion.ocn.ne.jp

住 所 / 越谷市千間台西6-25-11 (本社)

F A X / 048-975-6612

U R L / <http://www.kikuchi-3.com/>

創 業 / 1967年5月

資本金 / 1,100万円

従業員 / 24名

主な事業内容

ポリエチレン・ラミネート製品の製造、販売、ラベル製品製造、販売

主な取引先(納入先)

食品メーカー、商社、病院、自動車部品メーカー等

63

株式会社 ジクラフト

豊富な設備と一貫製造体制で 顧客のさまざまな要望を実現

手作業&デジタルで あらゆる造形物を成形

立体造形、舞台装置、展示装飾、ディスプレイ、サインなどを製作。ソフト樹脂、光造形、EPS+ウレタン樹脂コーティング、FRP、注型などの製造技術を持ち、数cmのストラップ原型から、テレビや舞台用大道具など10m近い巨大な造形物まで手がける。強みは「手作業」と「デジタル」両方の技術を持っていること。3DCADや光造型機などを積極的に取り入れる一方、職人の手作業による造形技術も高く、造形物に合わせて最適な手法を選択し、効率よく高品質な製品を提供している。また、一部印刷も行っており、印刷技術を造形に組み込むことで、多彩な仕上がりの製品を作成できる。



独自の技術



同業他社にはない「ソフト樹脂」と呼ばれるクッション性のある造形物が成形可能。子ども向け玩具やメカニズムを仕込んだもの、安全性が重視される介護現場用の商品などに用いられる。

強み



EPS（硬化発砲スチロール）の削り出しから樹脂コーティング、塗装まですべて社内で行う一貫体制を構築している。外部に出す手間と時間が必要ないため、短納期を実現。

今後の展望



比較的大型の造形物を短時間で成形できる3Dルーターの導入を検討している。PC制御なので図面どおりに制作できる。造形スペースを確保するために拠点の拡大も視野に入れている。

働く人の声



製作一部
門脇 誠
さん

テレビ番組用のセットなどをつくっています。それをテレビで見ると役立つなど感じます。毎日勉強ですが、とても楽しく、誇れる仕事です。

株式会社 ジクラフト

TEL 048-940-3950

E-MAIL info@jincraft.co.jp

住 所 / 越谷市谷中町4-165(第一作業場)
越谷市砂原392(第二作業場)

F A X / 048-940-3951

U R L / <http://www.jincraft.co.jp/>

創 業 / 2010年5月

資本金 / 850万円

従業員 / 18名

主な事業内容

立体造形、サイン、ディスプレイ、
舞台装置、展示装飾、販売物全般

主な取引先(納入先)

代理店、大道具会社

大型プレス機を備え 大物から小物まで断裁可能

64

中島
プレス工業
有限会社



シール材、防振、緩衝、防音、 防塵材などの型抜き加工

電子部品のパッキン材のプレス加工、断熱材やフェルト、不織布、両面テープなどの軟素材裁断加工を行っている。加工品の用途は、OA 機器および自動車関連部品のシール材、防振、緩衝、防音、防塵、断熱、溶液吸収体、エアフィルター、パッキン材など。大型プレス機も備えており、大小の断裁が可能。電子部品のパッキン材プレスのノウハウと技術力を異業種に展開することにより、付加価値の高い商品が作られる。また、複雑な使用環境に合わせ、加工品の一部に粘着をつけたり、折り曲げ部分や大きなサイズの加工も行ったりすることで高品質な製品に仕上げている。

独自の技術



無駄のない動線づくりとデータ管理を行い、コストを削減している。型はすべてカルテ管理方式を採用して整理されており、会社全体で生産効率の向上に取り組んでいる。

強み



きめ細かい福利厚生によって女性が長く働ける環境を整えている。長期勤務のベテラン女性や内職者が多く、出産育児後の復帰者も多い。経験豊富で安定した技術が丁寧な製造を支える。

今後の展望



形状記憶不織布に独自特許技術の形状記憶加工を施し、オリジナル自社製品「折り鳩」を開発。折り目を広げても瞬時に立体に戻る。今後も技術とノウハウを活かした新製品展開を考えている。



加工
その他

働く人の声



課長の
皆さん

既存のフェルト加工製品を高品質で提供するとともに、40年の豊富な経験と知識を活かした新しい技術と製品を展開しています。

中島プレス工業 有限会社 (なかじまプレスこうぎょう)

TEL 048-964-9924

E-MAIL mail@nakajimapress.jp

住所 / 越谷市増森2544

FAX / 048-965-5523

URL / http://nakajimapress.jp/

創業 / 1974年4月

資本金 / 300万円

従業員 / 25名

主な事業内容

各種薄物プレス加工、型抜き加工

主な取引先(納入先)

千代田インテグレ、エヌケー等

65

株式会社
岡安商店植物の持つ可能性を引き出す
独自の抽出・精製技術桃由来の「ピーチセラミド®」
の製品化にも成功

米をはじめとする植物由来の有用成分を抽出、精製、商品化して販売している。抽出物は、油、医薬品原料、化粧品原料などとして、さまざまな形で利用され、抽出後の残物も飼料として商品化し、有効利用している。創業当時から搾油と植物油脂の製造を手がけ、植物の持つ有用成分に着目してきた。1959年から製造を始めた医薬品などに利用される γ -オリザノールの抽出技術は特に高く評価されている。 γ -オリザノールは複合成分で、構成成分の比率は各社で違うため、薬効などにも違いが生じるが、独自の抽出・精製技術によって、オリザノール製剤用原料の90%以上のシェアを誇る。



独自の技術



世界で初めて、米を原料とした植物由来セラミドを工業生産ベースで抽出製造した。植物に含まれる成分を素材から効率よく抽出、精製する技術力は高く評価されている。

強み



平方工場の医薬品製造ラインは原薬GMP対応工場として承認されている。OEMによる研究、開発、加工も行っており、小ロット、多品種、短期にも柔軟に対応している。

今後の展望



長年培った植物由来セラミドの製造技術により、桃を原料とするピーチセラミド®の製品化に成功し、特許を申請中。食品や化粧品素材として、さまざまな商品化を進めていく。

働く人の声

製造部の
皆さん

1課は米油を抽出しています。2課は米由来の副産物の精製を行っています。3課は米由来ではない新しい成分の開発に取り組んでいます。

株式会社 岡安商店 (おかやすしょうてん)

TEL 048-962-0111

E-MAIL info@okayasushouten.jp

住 所 / 越谷市赤山本町17-16(本社)
越谷市平方1004-2(平方工場)

F A X / 048-962-0115

U R L / <http://www.okayasushouten.jp/>

創 業 / 1935年

資本金 / 5,000万円

従業員 / 50名

主な事業内容

米由来の抽出物、その他植物由来有用微量成分、各種食用油などの製造販売

主な取引先(納入先)

食品、食品加工、製薬、化粧品メーカー等

化学料
工業

最先端の開発を支えるナノ粒子を加工する微粒粉体加工メーカー

66

株式会社 新光化学 工業所



時代の求めに応じて進化させたナノ粒子の加工技術

新光化学工業所はドライトナー、粉体の微粉碎、精密分級などの受託加工を行っている。創業当時はアルミ箔用インキの製造、販売を行っていたが、「お客様が仕事をしなくなる会社であれ」を信条に時代の求めに応じて技術力を進化させ、今やナノ粒子を加工する技術にまで到達した。ナノ粒子は大きな粒子のままでは得られない新たな特性を示すため、最先端の研究や開発には欠かせない。少量多品種生産にも対応できるのがセールスポイントで、国の研究機関や大学との共同研究を積極的に行いながら常に新しい技術開発に取り組んでいる。

独自の技術



コンタミネーションを防ぐため、品質管理を徹底している。品質を数値化して管理しているが、機械のみに頼らず、人の手でも測定することで、誤差のない高品質な加工品を提供している。

強み



乾式粉碎、湿式粉碎、分級、表面処理、乳化などの精密な生産技術を有する。社員の7割以上が生産マスターの資格を取得した多能工の技術力を持っている。

今後の展望



医療、エネルギー、塗料などの多くの分野に新規素材として金属ナノ粒子を提供していく考えだ。また、金属および金属酸化物のナノグレードコロイドの製品化と販売を計画している。



化
材
工
業

働く人の声



工場長
小野寺 進
さん

私どもの会社は高度な加工技術を持ち、貴重な金属や難しい薬品を常に扱っていますので、社員一人ひとりの責任感や管理能力は高いと自負しています。

株式会社 新光化学工業所(しんこうかがくこうぎょうしょ)

TEL 048-964-6311

E-MAIL info@shinkou-kagaku.co.jp

住 所 / 越谷市増森1544-19(本社・工場)
ほか増森工業団地内に3工場

F A X / 048-964-6310

U R L / <http://www.shinkou-kagaku.co.jp/>

創 業 / 1959年1月

資本金 / 5,000万円

従業員 / 22名

主な事業内容

各種粉体受託加工、金属ナノ粒子製造販売、金属表面処理剤製造販売

主な取引先(納入先)

企業の研究開発部門等(詳細非公開)

ロールミルやビーズミルを操る
分散加工のプロ集団手動ハンドル式3本ロール
ミルで高度な分散加工を実現

分散加工のエキスパートとして、3本ロールミルとビーズミルを駆使して100ミクロンからナノレベルの高品質な分散技術を提供する。扱う製品は、塗料やインキ、接着剤、顔料、フィルム材料など、多岐にわたる。企業の研究開発部門から試作開発を依頼されるなど、試作から量産化まで幅広く提案できるのが強み。高品質・多品種・少量生産主義を貫くことで、顧客の多様な要求に充分応えている。新たな設備投資を進める一方、熟練職人があえて手動ハンドル式の3本ロールミルを使うことで、ロール圧の微妙な調整が可能となり、より高度で繊細な分散加工にも対応できる。



独自の技術



製造工程の全自動化が進む中、あえて手動ハンドル式も残すことで、顧客の要望にきめ細かく対応。ミルを自在に駆使できる技術の練磨や人材の育成にも余念がない。

強み



検査工程では粘度計やグラインドメーター、電子天秤、粒度分布計、分光測色計、光沢計といったさまざまな検査器具を使用することで、安定した高い品質を保っている。

今後の展望



「これで良しは絶対ない」を社訓に、社員には常に新しいチャレンジを推奨。新たな顧客ニーズに対応するため、カーボン素材の分散加工技術の高度化など、さらなる技術開発に取り組む。

働く人の声



第一製造部 係長
西中国 豊
さん

クライアントから持ち込まれるさまざまな要望に応える仕事。完成したときの達成感と我々の分散技術が認められるのが喜びです。

太陽化学塗料 株式会社(たいようかがくとりょう)

TEL 048-987-0131

E-MAIL desk@taiyou-kagaku-toryou.co.jp

住 所 / 越谷市大間野町3-55

F A X / 048-987-0132

U R L / <http://www.taiyou-kagaku-toryou.co.jp/>

創 業 / 1957年11月

資本金 / 1,000万円

従業員 / 15名

主な事業内容

各種分散処理の受託加工

主な取引先(納入先)

大中小企業さまざまに及ぶ

地域密着型の家庭用LPガスを中心としたガスの総合商社

68

フジオックス株式会社



90年の歴史を有する ガス取り扱いの専門家

フジオックスは、家庭用LPガスをはじめ、産業用ガス、医療用ガス、化学品などを扱うガス関連の総合商社だ。系列を持たない独立系企業で、90年の歴史があり、各種ガスの製造・充填工場として、越谷市と幸手市に工場を有する。越谷工場は、生活関連のLPガスとブタンガスを充填・販売し、北関東を中心に一般家庭や公共施設などに供給している。幸手工場は、化学関連の酸素、窒素、炭酸、アルゴンなどを生産しており、国内でも数少ない液化塩素の充填も行っている。工業、情報技術、化学、環境、医療、食品加工など、用途に合わせてさまざまなガスを供給している。

独自の技術



ガスの総合商社として、LPガスをはじめ、さまざまなガスを取り扱っている。液化塩素では関東甲信越で圧倒的なシェアを誇り、浄水場や工場排水の浄化などに大きな役割を担っている。

強み



関東を中心に、12ヵ所の営業所を展開し、地域密着型のきめ細かな保安体制と安定供給を行っている。地域の工務店等と協力しながら、住宅設備の販売やリフォーム事業も行っている。

今後の展望



2017年のガス小売全面自由化に向けて、顧客の要望に応えられる付加価値の高いサービスを提供する準備を進めている。顧客とのつながりを重視しながら、LPガスの良さを伝えていく。



化
材
工
業

働く人の声



常務取締役
北條一夫
さん

越谷工場は中核充填所に指定されています。災害時に自立的に稼働できるように、非常用の発電設備や通信設備、LPG車などが配備されています。

フジオックス 株式会社

TEL 03-3891-6291

E-MAIL info@fujiox.jp

住 所 / 東京都荒川区西日暮里1-19-9(本社)
越谷市大間野町5-10(越谷工場)

F A X / 03-3807-7410

U R L / http://www.fujiox.jp/

創 業 / 1926年12月

資本金 / 1億円

従業員 / 152名

主な事業内容

工業用、家庭用ガス、石油製品、医療ガス、化学薬品の販売

主な取引先(納入先)

産業ガス、エネルギー、化学品等取り扱いメーカー等

69

フタバ ペイント 株式会社

80年以上の歴史で培われた 独自の分散技術が商品開発の鍵

顧客のニーズに合わせた 受託製造、共同開発で躍進

塗料の製造、販売の大半が、顧客との共同開発や受託製造によるもの。「お客様から『こんなものをつくりたい』と要望があれば、課題を分析し弊社が手伝えることを提案したうえで、お互いの技術を出し合い開発に取り組みます」と話すのは北林社長。土木、建築、エレクトロニクス、宇宙関係など、幅広い分野の顧客に対して、各ニーズに合った塗料を提供できるのは同社の強み。そこには80年以上培われた「混合・溶解・分散」技術が応用されている。なかでも分散はミクロンからナノレベルまで行っており、付加価値の高い製品を生産している。昨今は海外との取引も増加傾向にある。



独自の技術



数百種類に及ぶ材料の分散に関する実績やノウハウを豊富に蓄積していて、より細かく分散する技術を持つ。この技術力が塗料の光沢、着色力、透明性を上げる肝になっている。

強み



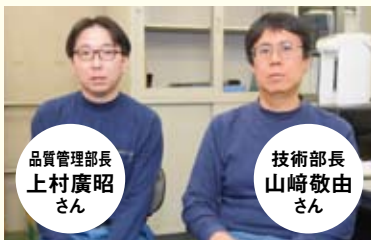
多様な製造設備があるため、少量多品種から量産まで融通がきく。また、混合・溶解・分散の受託加工も受けており、希少なニーズにも応えている。

今後の展望



時流に合った製品づくりのために、ナノレベル対応の分散機を新規で導入するなど、設備投資も積極的に行っている。今後は機能性塗料の開発も拡大していきたい。

働く人の声



品質管理部長
上村廣昭
さん

技術部長
山崎敬由
さん

自分たちが開発した塗料が使われているところを見るとうれしいですね。これからも世の中の役に立つような優れた製品をつくっていききたいと思います。

フタバペイント 株式会社

TEL 048-986-3166

E-MAIL info@futaba-paint.co.jp

住 所 / 東京都台東区竜泉3-15-2(本社)
越谷市西方2960(工場)

F A X / 048-986-2327

U R L / <http://www.futaba-paint.co.jp/>

創 業 / 1934年9月

資本金 / 1,600万円

従業員 / 24名

主な事業内容

塗料の製造および販売

主な取引先(納入先)

土木、建築、電機、エレクトロニクス、
自動車関連のメーカー、研究所等



化学工業

多彩な自家製麺が好評 高い商品開発力で差別化

70

株式会社 クリタエイム デリカ



充実の配送体制で 豊富な種類の惣菜提供

調理麺、調理済加工食品、レンジ麺など、中食業界で麺類を中心とした惣菜の製造販売を行う。特に長年製麺に関わってきたノウハウの蓄積により、高品質な製品製造を実現。配送体制が充実しており、北は青森から南は大阪までデイリーに届けており、遠方かつ細かい配送ができる。多様な人材を採用することで365日24時間体制のフル稼働を実現し、最大で1日12万食を製造でき、顧客の要望に柔軟に応えられる体制を敷いている。トレーサビリティの強化にも取り組んでおり、問い合わせがあった場合には1時間以内の返答を目標にしている。

独自の技術



製麺業から創業した技術を活かし、微妙な素材の配合や調整により、色、食感、硬さなど、トレンドや各企業の細かい要望に応じた“オリジナル麺”を提供できる。

強み



各種麺をはじめ、惣菜や出汁なども含めると、年間に開発するメニューは300種類以上。自社ブランドのほか、開発で培った提案力を活かして、PBにも幅広く対応している。

今後の展望



高齢者の憩いの場として、新たに越谷市内にカフェ「シェアダイニング サルータ」を開業し、自社でつくった生パスタなどを提供。今後外食部門のさらなる拡大を図っていく予定。

経営者の声



代表取締役社長
栗田美和子
さん

社内には品質管理専門の社員が6名おり、常に安全性を追求。製麺技能士、惣菜管理士などの資格取得も推奨し、常にスキルアップを図っています。

株式会社 クリタエイムデリカ

TEL 048-960-5151

E-MAIL home@kurita-aim-delica.co.jp

住 所 / 越谷市大沢3271

F A X / 048-964-5720

U R L / <http://www.kurita-aim-delica.co.jp/>

創 業 / 1948年9月

資本金 / 9,000万円

従業員 / 281名

主な事業内容

調理麺、レンジ麺、惣菜、調理済加工食品の製造

主な取引先(納入先)

食品スーパー等



食品製造

71

越ヶ谷 製氷冷蔵 株式会社

純水を使用した氷「キングアイス®」 を展開する氷の専門メーカー

透明で溶けにくい 純水の氷を日産50t製造

「キングアイス®」のブランドで知られる製氷の専門メーカー。日本の製氷会社で初めて水道水からH₂Oのみを透過できる逆浸透膜濾過装置を導入し、得られた純水を製氷して商品化した。純水の氷は結晶が規則正しく配列されているため透明度に優れ、美しく硬いうえに、熱の伝わり方が遅いので、低温のまま氷の状態を長く保てるのが特徴だ。日産で50tの氷を製造でき、砕氷して袋詰した氷は、「キングアイス®」のブランドで、スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどで販売されている。135kgの角氷は、市場や氷菓メーカーなどに納品されている。



独自の技術



原料となる純水は、すべて水道水から製造している。逆浸透膜濾過装置を通すと、純水は水道水から50~60%程度しか精製できない。残りの水は冷却水として再利用している。

強み



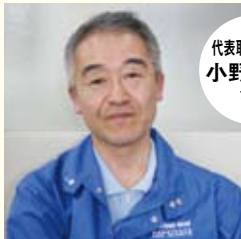
製氷室の製氷槽は4槽に分断されていて、135kgの標準氷と白い芯のない100kg加工氷を需要に合わせて製造できる。純水を製造する工程を全自動化し、生産性を高めている。

品質管理



原料水は、逆浸透膜濾過装置に加え、活性炭濾過装置で不純物を徹底して取り除き、洗浄、砕氷、軽量、包装、異物検査等をすべて自動化しながら、衛生面を万全にしている。

経営者の声



代表取締役社長
小野田 洋
さん

私どもがつくる氷は不純物がないので、身体にも良い水だと自負しております。健康面でもこれからはアピールしていきたいです。

越ヶ谷製氷冷蔵 株式会社 (こしがやせいひょうれいぞう)

TEL 048-979-8000

E-MAIL info2@king-ice.com

住所 / 越谷市平方999-4

FAX / 048-979-0808

創業 / 1960年3月

資本金 / 1,100万円

従業員 / 19名

主な事業内容

氷の製造および卸小売販売

主な取引先(納入先)

氷菓メーカー、卸問屋、市場等

日本伝統の味を食卓に届ける 惣菜市場を開拓した先駆者

72

株式会社 佐々商店



原材料や味付けはもちろん 少量多品種でニーズに対応

創業当初は佃煮を中心としていたが、現在では1日に約100種類もの商品をつくっている。取引先は関東圏のスーパーを中心として、煮豆や佃煮などの日本伝統の惣菜を年間約300万パック、パッケージ商品は年間約120万パックを直接販売している。また、筍の土佐煮、味にしん大根、さつまいも煮、甘味など、多種多様な商品に対応し、年末にかけてはおせち料理の製造も手がける。大手ではできない少量多品種対応が得意。開発も自社で行い、減塩や原材料の国産化など、消費者のニーズに合わせて味付けを変えている。PBの製造依頼も多く、売上げの50%を占めている。

独自の技術



小回りがきく中小企業の利点を活かして、大量生産ではなく手づくり感のある製品を多品種製造。日本人の味覚の変化、健康意識の高まりに合わせた薄味など、味付けにも工夫している。

品質管理



2007年にISO9001を取得し、原材料の選定から、製造、保管、出荷まで商品ごとに厳しい基準を設けている。日々、商品検査や細菌検査、理化学検査などを行い、品質管理を徹底している。

今後の展望



さらなる新商品の開発に加え、既存商品の改良も常に行っていく。栗きんとんの栗を他社に先駆けて国産品に変更するなど、原材料の品質向上にも努めている。

働く人の声



生産部長
羽田正樹
さん

商品の出荷など、生産管理を行っています。当社の惣菜は、和食の特徴であります出汁の味を大切に、美味しい商品づくりを心がけています。

株式会社 佐々商店 (ささしょうてん)

TEL **048-985-7111**
E-MAIL **info@sasa.co.jp**

住 所 / 越谷市蒲生旭町3-4
F A X / 048-985-1272
U R L / <http://www.sasa.co.jp/>
創 業 / 1919年3月
資本金 / 2,800万円
従業員 / 230名

主な事業内容

総菜、煮豆、佃煮など製造販売

主な取引先(納入先)

食品メーカー、食料品店、生活協同組合、スーパーマーケット等

独自の鉄板焼き製法を確立
全国の特産品米菓をOEMで開発鉄板で一斉に焼き上げる
独自製法で量産体制を確立

鉄板焼き製法による煎餅製造では、国内トップシェアを誇る米菓メーカー。「越谷ふあり」に代表される自社ブランドを展開しながら、OEMやPBによるオリジナルの米菓の開発に注力。同社が得意とするのはサクサクとした食感が特徴のサラダ煎餅で、独自の鉄板焼き製法で量産体制を確立した。これまでに1,000種類近いシーズニングパウダーの開発を行っており、さまざまな味をアレンジできるため、全国各地の特産品の味を再現したオリジナル煎餅の共同開発にも取り組んでいる。OEMやPBの受注は北海道から沖縄まで全国各地に及ぶ。



独自の技術



製造工程は企業秘密だが、原材料選定や生地水分調整、シーズニング開発などの独自の取り組みにより、味付けはもちろん、食感も顧客が望むとおりの米菓を開発・商品化できる。

強み



米菓のOEMやPBは、開発から製品化まで一手に引き受けられる。まちおこしのためのオリジナル商品や、小ロットのイベント用ノベルティ、結婚式の引き出物まで、幅広く対応している。

今後の展望



原材料からミネラルを低減させた機能性食品など、新たな米菓の開発にも取り組んでいる。また、越谷煎餅の名を広めるため、自社ブランド商品の強化も図っていく。

働く人の声



製造部
石渡功司
さん

職人としてのやりがいを感じます。生地は、味や季節によって微調整しながら乾燥させるなど、1枚1枚の煎餅に職人の技術が込められています。

株式会社 米菓桃の家(べいかもものや)

TEL 048-964-3322 (営業部)

E-MAIL m1@momonoya.co.jp

住 所 / 越谷市南越谷1-2-24(本社)
越谷市谷中町4-160-1(事務所・工場・営業部)

F A X / 048-964-0333

U R L / <http://www.momonoya.co.jp/>

創 業 / 1965年4月

資本金 / 1,000万円

従業員 / 30名

主な事業内容

各種米菓の製造・販売、業務用食材の卸売

主な取引先(納入先)

全国の菓子専門店等

パリコレにも出品される靴を 特注で製造する職人技

74 有限会社 イケモト



熟練の職人がデザイナーの 難しい要望に応える

婦人靴、紳士靴の製造、販売を行っている。主にファッションブランドの婦人靴をOEMで製造しており、「NABO」の自社ブランドも展開している。パリコレクションなどのファッションショーで披露される特注品も製造している。ファッションブランドのOEMは、デザイナーが洋服専門のケースが多いが、デザイン面の再現はもちろん、職人が機能性や履き心地も考えながら製品化に取り組んでいる。量産品は100足以上が基本だが、それに満たない場合でも相談の上対応することも可能。人気ブランドの固定した生産ラインも確立しており、シーズンごとに新作靴の製造を行っている。

独自の技術



ファッションデザイナーが求める斬新なデザインや形状などを忠実に再現しながら、靴の専門家として手間を惜しまず、機能性や履き心地を追求した製品づくりを心がけている。

強み



革などの原材料は国産品にこだわる。熟練の靴職人がデザイナーのどんなに難しい要望にも対応できるため、高級ファッションブランドから多数の受注実績を持つ。

今後の展望



OEM契約をしているファッションブランドメーカー各社とも協力しながら、急増する外国人観光客を見据え、信頼性の高い日本製であることをアピールし、ブランド力を高めていく。

経営者の声



代表取締役
池本 憲次
さん

洋服に比べると靴は脇役になっていますが、靴の良し悪しで、ファッション全体のイメージが変わってしまうほど、重要なアイテムなのです。

有限会社 イケモト

TEL 048-985-3257

E-MAIL info@ikemoto-inc.co.jp

住 所 / 越谷市登戸町6-28

F A X / 048-985-3254

U R L / http://www.ikemoto-inc.co.jp/

創 業 / 1980年11月

資本金 / 500万円

従業員 / 12名

主な事業内容

OEMによる紳士靴、婦人靴の製造・販売

主な取引先(納入先)

アパレル、ファッションブランドメーカー各社



靴衣料
関連

75

株式会社 ティーアンド エス

革新的なスーツケースを次々と 開発し、世界的な評価を獲得

「あれば便利」を具現化する アイデアと開発力

旅行用スーツケース、革トランク、ビジネスおよびカジュアルバッグなど、多種多様なバッグの開発、デザイン、製造を一貫して行っている。主力は旅行用スーツケース。使用するとき「あれば便利」と感じる機能を、特別な操作をせず負担なく動作させる付加価値の高いアイデア製品の開発力には定評がある。キャリーバーを下げるとキャスターがロックして止まる機能や、超過重量の不安を解消するためスーツケース自体に計量機能を搭載したアイデアは世界的に評価され、世界最高峰のデザイン賞のひとつ「red dot design award 2015」を受賞した。



独自の技術



デザイナーでもある社長の斉瑞成氏が世界中を旅する経験のなかで、今までは想像できなかった便利な機能付きのスーツケースを次々と開発している。デザインに対する評価も高い。

強み



製造、組み立ては中国工場で行う。日本の厳しい品質基準に対応するため、製品は第三者機関を含めた3度の検品を行っている。確かな品質評価で大手メーカーにもOEM供給している。

今後の展望



世界初の太陽光発電付きのスーツケースを開発した。旅行先で気になるスマートフォンなどの電池切れを解消できる。今後も注目される製品を開発しながら、海外販売も強化していく。

経営者の声



代表取締役社長
斉瑞成
さん

鞆の歴史は古いが、スーツケースの歴史はまだ浅いです。まだまだ進化しますし、私も新たな開発プランをたくさん持っています。

株式会社 ティーアンドエス

TEL 048-969-8688

E-MAIL info@tands-luggage.jp

住 所 / 越谷市弥生町1-12

F A X / 048-969-8788

U R L / <http://www.tands-luggage.jp/>

創 業 / 2002年4月

資本金 / 3,000万円

従業員 / 62名

主な事業内容

スーツケース、旅行バッグ、旅行用品および関連商品の製造・販売・卸

主な取引先(納入先)

大手百貨店、鞆専門店、ホームセンター等



鞆衣
関料
連

技能競技大会受賞者が複数在籍し ミセス向けの高級婦人服を提供

76

株式会社 プラス・ワン



袖を通した瞬間の快適さと 丁寧な縫製へのこだわり

コートやスーツ、ジャケットなどの重衣料を中心にミセス向けの高級婦人服を仕立てている。生地は性質上、温度や湿度によって伸縮するため、依頼されたパターンでつくってもデザイナーのスケッチ通りになるとは限らない。そのため新作を手がける際は、イメージした形になるまでパターンを調整し、通常2~5回試作。縫製の大半はミシン縫いだが、見えない部分もシルエットと着心地に影響するので丁寧仕上げる。襟、袖、肩周りなどは手縫いを施すことも多い。社員の技術力が高く、国内外の技能競技大会の受賞者も多数在籍。カシミア、ベルベットなどの難素材縫製にも対応が早い。

独自の技術



ミシンで縫った部分は必ずアイロンをかけ、生地に立体感が出るように仕上げる。こうした一手間が美しいシルエットと袖を通したときの着心地の良さに結びついていく。

強み



若手の育成に力を入れており、新入社員はOJTと認定職業訓練校で週2回、2年間にわたり洋裁の基礎を徹底的に学ぶ。どんなデザインでも柔軟に対応できる優秀な人材が揃っている。

今後の展望



ミセス向けに国内の高級ブランド服を仕立ててきた経験を活かし、品質の良さを直接、消費者にPRできるようなオリジナル自社製品をつくっていければと考えている。

経営者の声



代表取締役
土田邦夫
さん

「基本に忠実で丁寧に作る」メイド・イン・ジャパンの素晴らしい文化を取り入れ、洋服を着ていただいた方に喜ばれる製品づくりがモットーです。

株式会社 プラス・ワン

TEL 048-973-6060

E-MAIL plus_one@nifty.com

住 所 / 越谷市袋山1557-29

F A X / 048-973-6061

U R L / <http://homepage3.nifty.com/plus-one/>

創 業 / 1988年9月

資本金 / 1,000万円

従業員 / 30名

主な事業内容

高級婦人服コート、ジャケット、スーツの縫製、企画、販売

主な取引先(納入先)

高級婦人服メーカー、卸販売会社



衣
料
関
連

水質、土壌、大気汚染
環境分析に柔軟な対応

事業所などから排出される水、ばい煙、騒音などの「環境分析」や、「工業材料の異物・不純物などの形態観察や分析」「機能性薄膜の受託加工」と3つの事業を展開。なかでも環境分析は長い歴史を持つ。公害防止や環境保全のために法律で定められた検査項目に基づき、大気汚染や水質、土壌など各物質に有効な採取方法で、計量士が高精度な分析と測定を行っている。特にダイオキシンの分析では、MLAP認定特定計量証明事業者の国内第1号。検査終了後もトレーサビリティのために最低1ヵ月は試料を冷蔵保管。また、短納期にも対応するなど、きめ細かなサービスで顧客の信用が厚い。



独自の技術



東日本大震災後、速やかに放射能、放射線専用の分析機器を導入するなど、時代のニーズに合わせて正確なデータを出すために設備を整え、研鑽を積んだスタッフが分析と測定を担当。

強み



顧客の業種や製造物に応じて、法律の環境基準を満たすためにどのような検査項目が必要か的確にアドバイス。検査結果で問題が出た場合は原因を究明し、改善策の相談にも応じている。

今後の展望



労働者の健康障害を防止するため、就業場所の状態や環境を測定し、その結果に基づき設備改善を図るなど、労働環境改善の高まりにも幅広く対応していく。

働く人の声



環境分析センター
石川美由樹
さん

お客様からのご依頼に対する分析データが私たちの大事な商品となります。精度の高いデータをお届けできるよう、日々努力しております。

東邦化研 株式会社(とうほうかけん)

TEL 048-961-6161

E-MAIL info@tohokaken.co.jp

住 所 / 越谷市流通団地3-3-8(本社・環境分析センター)
越谷市西方2725(南越谷工場)

F A X / 048-961-5111

U R L / <http://www.tohokaken.co.jp/>

創 業 / 1953年8月

資本金 / 5,000万円

従業員 / 92名

主な事業内容

各種環境測定分析、異物・不純物などの形態観察や分析、薄膜処理加工

主な取引先(納入先)

各種メーカー、建築会社、地方自治体、学校、公的機関研究所等



製薬会社向けの溶出試験分野で 国内トップシェアの実力

78

日本バリデーション・ テクノロジーズ 株式会社



溶出試験器における フルサポート企業

製剤の溶出試験関連機器のバリデーション・キャリブレーション技術サービスの先駆け。製薬業界のバリデーションや機器校正のアウトソーシング化のトレンドを読み、新たなニッチ市場を開拓し、国内でトップシェアの実力を誇る。製薬会社の分析試験室などに立ち入るため、全社員がGMPの基礎教育を受講しているほか、溶出試験のセミナーを開催するなど、人材の育成にも努める。現在、マーケット情報の蓄積などの強みを活かし、溶出試験関連機器の自社製品開発にも注力しており、国内でのものづくりを強化していく考えだ。

独自の技術



溶出試験のバリデーションや機器校正は、米国の専門教育機関でのキャリブレーション教育、米国USPの教育を受け、その指導法に基づいて、必要な試験をすべて実施している。

強み



溶出試験機をはじめ、自動調整分注装置メディアブレップ、ベッセル洗浄機などの装置のほか、各種消耗品を取り揃えて、顧客の快適で安全な分析ラボ環境整備の支援を行っている。

今後の展望



輸入製品の品目数を増加させるとともに、国内の市場に合った溶出試験関連の自社開発製品を増やしていく考えだ。技術力のある企業と連携しながら、試作、製品化を進めていく。

経営者の声



代表取締役
田辺 熱
さん

お客様はすべて製薬会社ですので、バリデーション・キャリブレーションの技術力の強化、試験に立ち会う社員の教育は徹底して行っています。

日本バリデーション・テクノロジーズ 株式会社 (にほんバリデーション・テクノロジーズ)

TEL 050-3536-1817 (IP電話)

E-MAIL contact@validation.co.jp

住 所 / 越谷市弥生町1-4 越谷弥生ビル2F

F A X / 048-964-9930

U R L / <http://www.validation.co.jp/>

創 業 / 2002年12月

資本金 / 4,000万円

従業員 / 20名

主な事業内容

バリデーション・キャリブレーション技術サービス、製剤開発分析関連機器の輸入販売等

主な取引先(納入先)

製薬会社



その他

79

株式会社 パワーホース

重機メーカー各社の独自規格にも対応 油圧ホースを1時間高速加工

工事現場に出向き、極力工事を 止めず油圧ホースを加工

建築や土木現場で活躍する重機の自在な動作を支えているのが油圧ホースだ。しかし、劣化や事故で油圧ホースが破損し、重機が止まると後工程となる現場がすべて止まってしまうことも多い。重機が1時間止まるだけで数十万円から数百万円もの損失となることもあるため、迅速かつ完璧な修理が必要となる。パワーホースでは、オーダーが入り次第、さまざまな口金付き予備ホースを現場に持ち込み、その場ですぐに交換できる体制を整えている。また、油圧ホースの継ぎ手や口金は重機メーカー各社が独自のものを採用しているが、予備がないときでも現場で1時間以内に加工が可能だ。



独自の技術



重機に使われるφ6~25mmの6種類のホースを用意し、SAE（インチ）およびDIN（ミリ）などの種々の規格の口金などの部品を短時間で加工し、すべて現場で接続することができる。

強み



重機メーカー各社の標準規格以外にも対応している。さまざまな高圧油圧ゴムホースと口金に対応する資材および加工工具を現場に持ち込み、重機と合致するホースを現場で作成できる。

今後の展望



現在は重機の油圧ホース修理が中心だが、培った油圧修理の技術をもとに、生産機械など、重機以外への油圧修理の展開も視野に入れて営業を行っている。

働く人の声



社員の
皆さん

毎回試行錯誤の多い現場ですが、修理作業を終えたときにお客様からいただく「ありがとう」の一言が一番のやりがいです。

株式会社 パワーホース

TEL 048-970-6341

FAX 048-970-6342

住 所 / 越谷市野島65

創 業 / 1995年11月

資本金 / 200万円

従業員 / 4名

主な事業内容

油圧ホース作成、修理

主な取引先(納入先)

工事関連業者等

デザイン加工の高い技術力を持つ 鉛筆のプロフェッショナル

80

株式会社 谷中



塗装、熱転写印刷で 鉛筆表面をデザイン加工

OEMを中心とした鉛筆専門のメーカーで、主に塗装、熱転写印刷、頭付けなど、鉛筆表面のデザイン加工に関する最終仕上げを行っている。フィルムの熱転写印刷は、丸軸、六角軸など鉛筆の種類に合わせながら、複雑なデザインのフィルムにも対応、仕上げが難しい4角軸の鉛筆も対応できる。主流の購買層である小学校低学年に人気のあるデザイン性の高い鉛筆は、加工の難しさに加え、小ロットのものが多く、国内に鉛筆製造の工場が少ないこともあり、同社に受注が集まっている。日産で約6万~10万本の鉛筆を製造している。

独自の技術



熱転写印刷などのデザイン加工の仕上げは高い完成度を誇り、納品先の信頼も厚い。今も手作業の工程が必要な頭付けは、まさに職人ならではの高い技術力で美しく仕上げている。

強み



高品質の印刷加工を高効率でシステム化。プログラミングした熱転写印刷機を迅速に調整しながら、1人が複数台の機械を稼働させ、少人数で大ロットの受注にも対応している。

今後の展望



小学校低学年の児童を中心に、デザイン鉛筆の需要が高まっている。小ロットから大ロットまで、あらゆる受注に対応できる生産体制を維持しながら、技術の向上にも努めていく。

経営者の声



代表取締役
谷中基泰
さん

現在、同業者は全国で30社程度です。近年、需要も回復していますので、鉛筆の文化とともに、技術をしっかりと継承していきたいと思っています。

株式会社 谷中(やなか)

TEL 048-986-8228

E-MAIL yanaka@maple.ocn.ne.jp

住 所 / 越谷市大間野町3-50

F A X / 048-986-8229

創 業 / 1964年6月

資本金 / 750万円

従業員 / 4名

主な事業内容

OEMを主体とした鉛筆の製造

主な取引先(納入先)

文具メーカー



その他

索引

あ	28 (株)秋山	35
	01 (株)浅草製作所	8
	29 (株)アドバンスパーツ	36
	02 (株)天谷製作所	9
	03 (株)AMU冷熱	10
	04 (株)新井製作所	11
	05 (株)飯田製作所	12
	74 (有)イケモト	81
	30 石井プレス工業(株)	37
	49 (株)エス・ワイ・エス	56
	50 (株)エフ広芸	57
	31 (株)大西歯車製作所	38
	06 大森機械工業(株)	13
	65 (株)岡安商店	72
	56 小川金属塗装(有)	63
か	61 (株)榎の木製作所	68
	07 梶原工業(株)	14
	08 (株)カメラ熱電	15
	51 (有)川島銘板	58
	32 (有)川本製作所	39
	62 (有)キクチ三化学	69
	42 木本ゴム工業(株)	49
	09 共同工業(株)	16
	52 (株)協和プロセス	59
	70 (株)クリタエイムデリカ	77
	10 京葉エンジニアリング(株)	17
	57 (有)江東高周波工業	64
	43 コーケン工業(株)	50
	71 越ヶ谷製氷冷蔵(株)	78
さ	33 (有)サクラ製作所	40
	72 (株)佐々商店	79
	34 三協製罐工業(株)	41
	11 サンライズ工業(株)	18
	44 (株)J&C	51
	12 (株)ジェイネット	19
	13 (株)翔和	20
	63 (株)ジnkラフト	70
	66 (株)新光化学工業所	73
	14 (株)シンセイ	21
	35 (有)成起工業所	42
	36 (株)精密歯研工業所	43
	58 (有)セキネアルマイト	65
	23 セリック(株)	30

た	45 (株)タイセイ	52
	15 タイテック(株)	22
	53 大日本パッケージ(株)	60
	67 太陽化学塗料(株)	74
	75 (株)ティーアンドエス	82
	24 東京トランス(株)	31
	77 東邦化研(株)	84
	46 東和合成工業(株)	53
な	64 中島プレス工業(有)	71
	37 (株)中山製作所	44
	16 (株)ニチリョー	23
	17 日本エレベーター製造(株)	24
	78 日本バリデーション・テクノロジーズ(株)	85
は	59 (株)パーツ精工	66
	79 (株)パワーホース	86
	25 ヒーロー電機(株)	32
	38 (有)常陸機械製作所	45
	68 フジオックス(株)	75
	69 フタバペイント(株)	76
	76 (株)プラス・ワン	83
	73 (株)米菓桃の家	80
ま	47 (株)マックインターナショナルアソシエイツ	54
	54 松崎紙工(株)	61
	26 (株)マルニックス	33
	18 三上鉄工(株)	25
	48 光宝化学(株)	55
	19 ミナトエンジニアリング(株)	26
	39 (有)村田スプリング製作所	46
	20 モディアシステムズ(株)	27
や	80 (株)谷中	87
	55 山浦紙器印刷(株)	62
	40 山元(株)	47
	41 (有)山寺製作所	48
	21 (株)ユニシス	28
	60 吉野電化工業(株)	67
ら	22 (株)ライフ	29
わ	27 (株)和光製作所	34

発行日: 2016年1月

発行: 越谷市

埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目2番1号

<http://www.city.koshigaya.saitama.jp/>

編集: 越谷市環境経済部産業支援課

TEL.(048) 967-4680(直通)

制作: 株式会社文化工房



越谷ものづくり企業ガイドブック

CREATION & PRODUCTION

